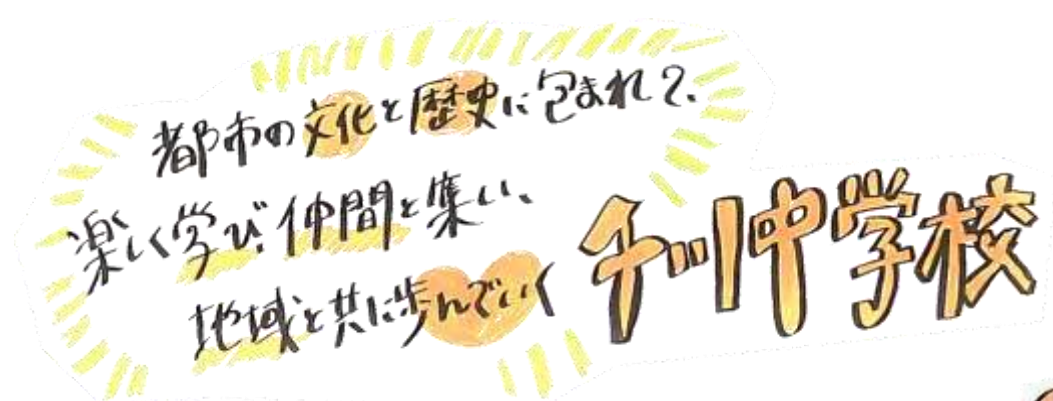


●● 千川中学校 建替え
●● 基本構想に関する提言書



目次

はじめに.....	1
1. 千川中学校の現況	2
(1) 位置	2
(2) 地域・地区	2
(3) 学校施設の現況	3
2. 建替えに係る条件等の整理	6
(1) 建替えスケジュール	6
(2) 生徒数と学級数	6
(3) 学校の教育目標と機能	7
(4) 地域の特徴	8
3. 建替え基本構想に係る提言	9
(1) コンセプト ～私たちの思い～	9
(2) 基本方針 ～こんな学校にしたい～	10
(3) 整備方針 ～こんな風につくりたい～	12
(4) 配置計画の検討	14
資料編	19
1. 豊島区教育ビジョン2019(抜粋)	19
2. 「千川中学校の建替え等を考える会」の活動記録	20
3. 千川中学校の建替え等に関するアンケート調査の実施	21
(1) アンケート調査の概要	21
(2) アンケート調査の結果	22
4. ワークショップの内容	32
(1) テーマ：学校への想いを語ろう	32
(2) テーマ：めざしたい学校の風景	35
(3) テーマ：めざしたい学校の風景2	45
(4) テーマ：提言書（案）～大切にしたいこと～	51
5. 千川中学校の改築に向けた参考意見について	52
6. 「千川中学校の建替え等を考える会」会則	53
7. 「千川中学校の建替え等を考える会」委員名簿	54



はじめに

私たち「千川中学校の建替え等を考える会（以下、考える会）」は、千川中学校（以下、千川中）、千川中のPTA、周辺小学校（高松小、要小）のPTA、同窓会、町会、地域の青少年育成委員会、開放運営委員会、豊島区によって構成される組織です。

令和2年7月に会を設立して以来、検討会、学校建築に関する勉強会、区内の学校見学、ワークショップ等を実施し、建替えに関する知識・理解を深めてきました。また、提言書策定の参考とするため、千川中の生徒・保護者・教職員、学区域の周辺小学校（高松小、要小）PTA や5～6年生児童、地域の方々を対象としたアンケート調査や地域説明会を行ない、様々な意見を集約・整理してきました。

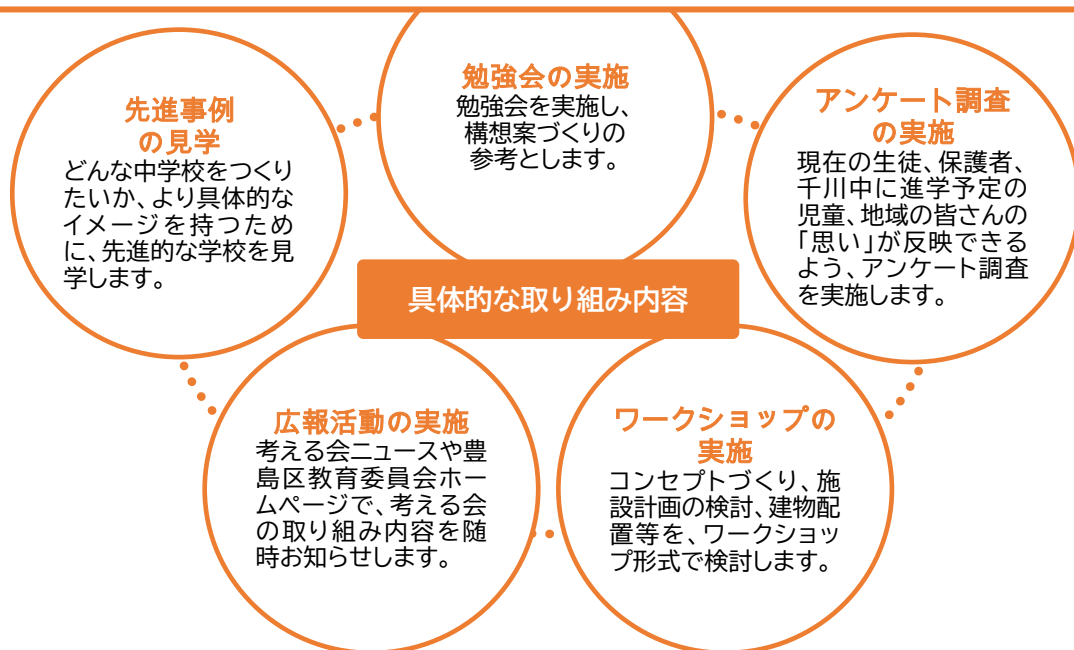
そしてこの度、考える会の中で出された提案、地域の皆さまからいただいた意見を反映させた提言書がまとまりましたので、本書のとおり提言します。

今後、建替えによって千川中が「学びの場」「生活の場」「地域の拠点」として整備され、地域に安全・安心を与え、世代を超えて愛される学校になることを願っています。

千川中学校の建替え等を考える会

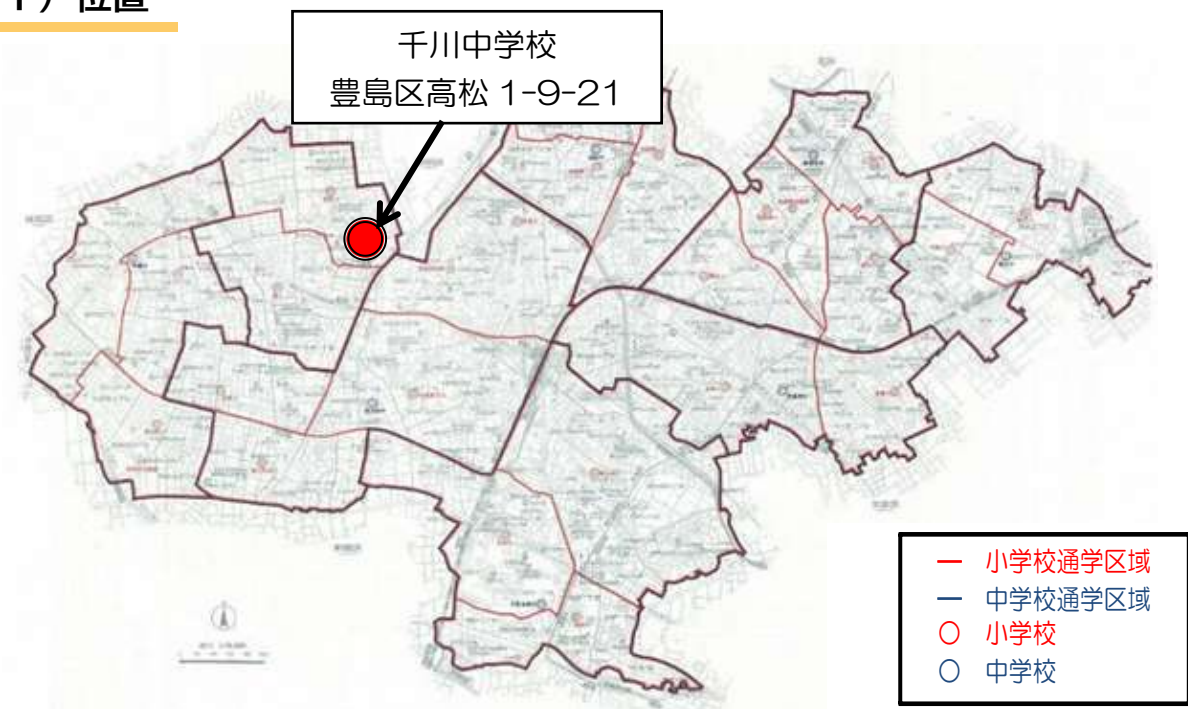
考える会は、次の4つのことに取り組んでいきます。

- ① 学校施設づくりに必要な調査・研究を行うこと。
- ② 学校改築の基本構想をまとめ、豊島区教育委員会並びに豊島区長に提言すること。
- ③ 学校改築の基本構想の実現に向けた活動を推進すること。
- ④ その他、学校施設づくりに関すること。



1. 千川中学校の現況

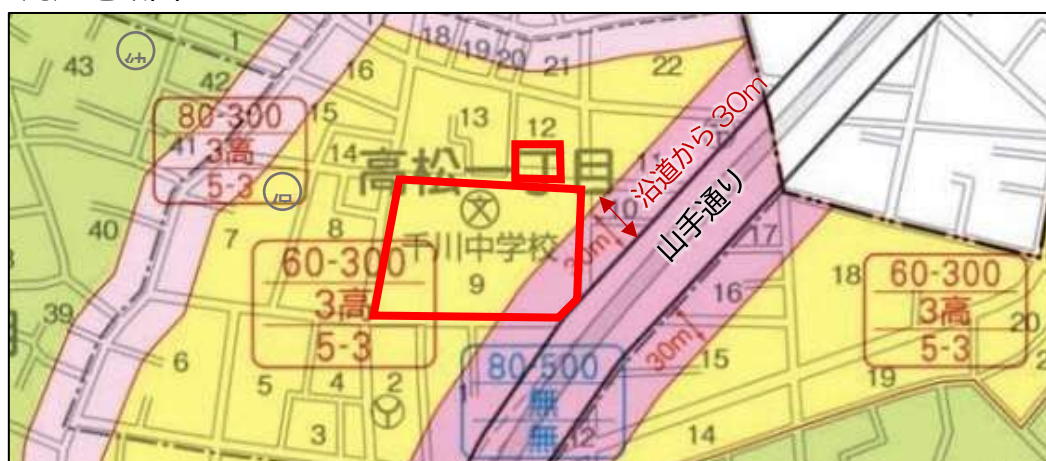
(1) 位置



(2) 地域・地区

用途地域	第一種住居地域		商業地域
建ぺい率	60%		80%
容 積 率	300%		500%
防火地域	準防火地域		防火地域
高度地区	第3種高度地区		なし
日影規制	規制される日影時間		
	敷地境界線からの範囲		なし
	5～10m	10m超	
	5 時間	3 時間	
		測定水平面	
		4m	

<用途地域図>



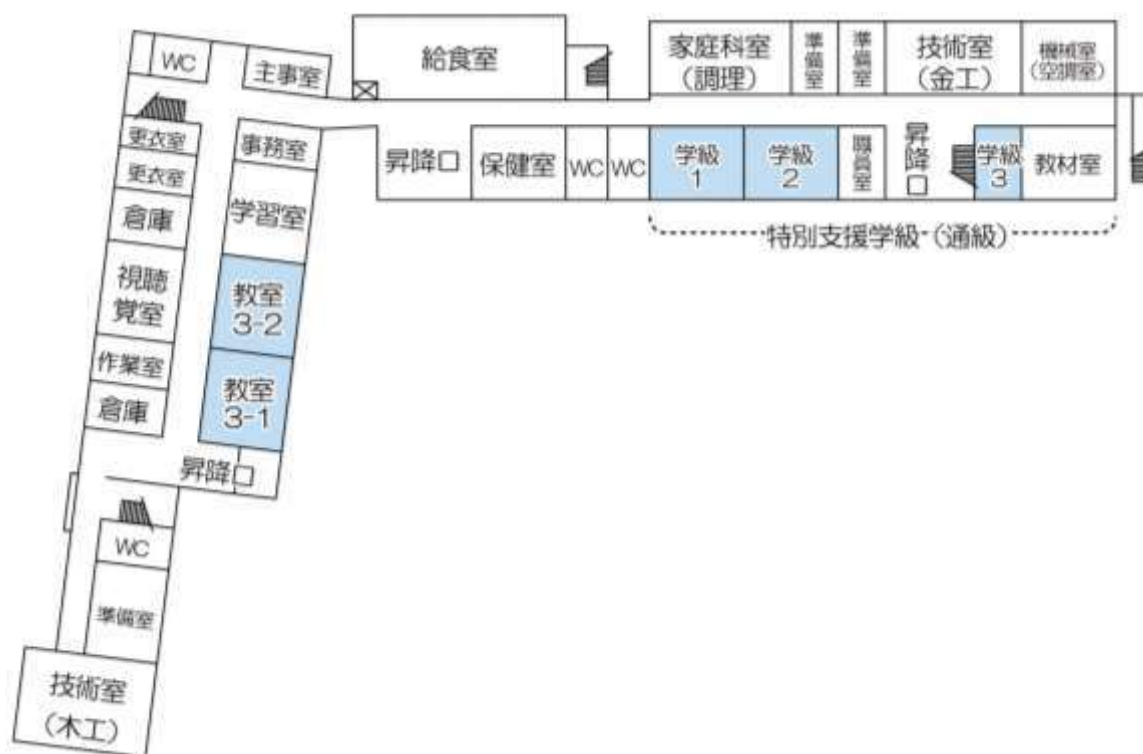
(3) 学校施設の現況

- 校地面積 校舎敷地：8,619.45 m²（運動場面積 4,209 m²）、プール敷地：702.00 m²
合計：9,321.45 m²
- 延床面積 校舎棟：4,719.59 m²、体育館棟：2,137.63 m²、プール棟：702 m²
合計：6857.22 m²
- 構 造 校舎棟：鉄筋コンクリート造
体育館棟：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
- 接道状況 校舎敷地：東 4.3m／南東 40.0m／南 5.0m／西 6.7m／北 5.0m
プール敷地：南 5.0m／西 4.0m
- 建設年度 校舎棟：昭和 36～55 年度
体育館棟：昭和 37 年度
プール棟：昭和 52 年度
- 耐震補強 平成 15～16 年度

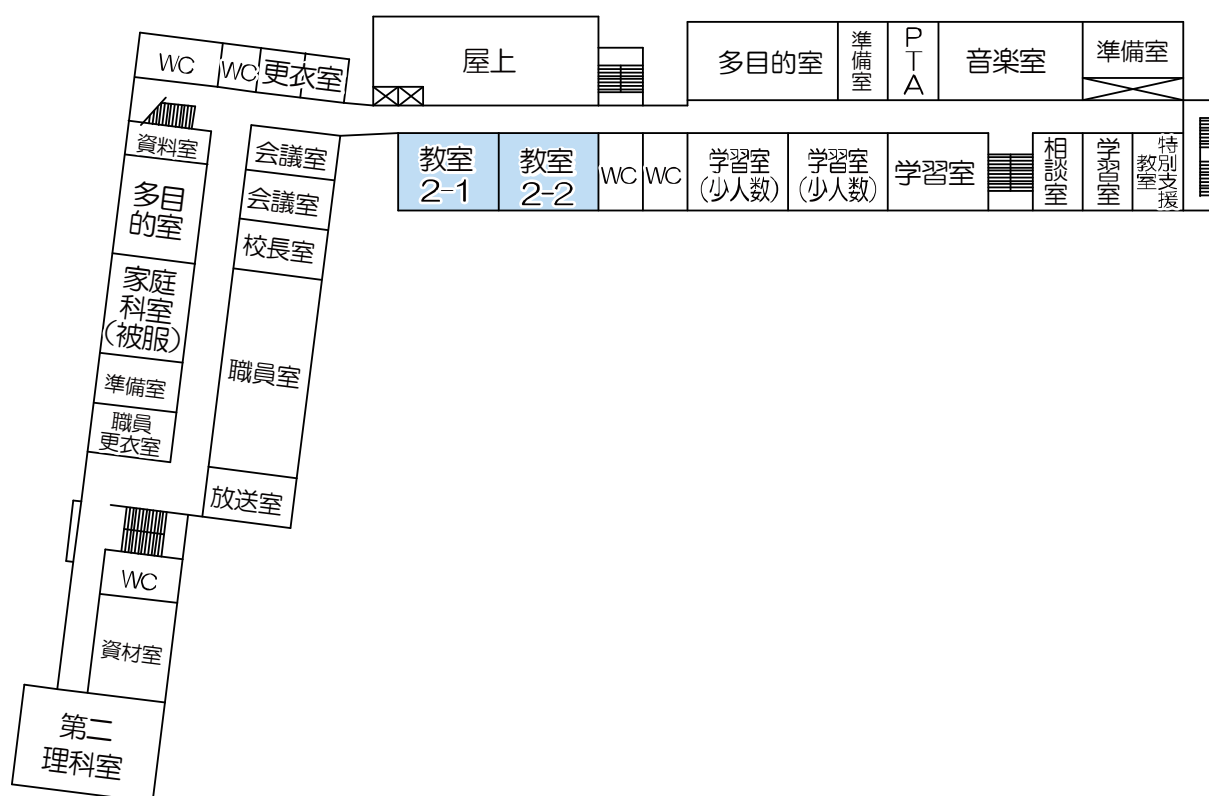
<配置図>



<1階平面図>



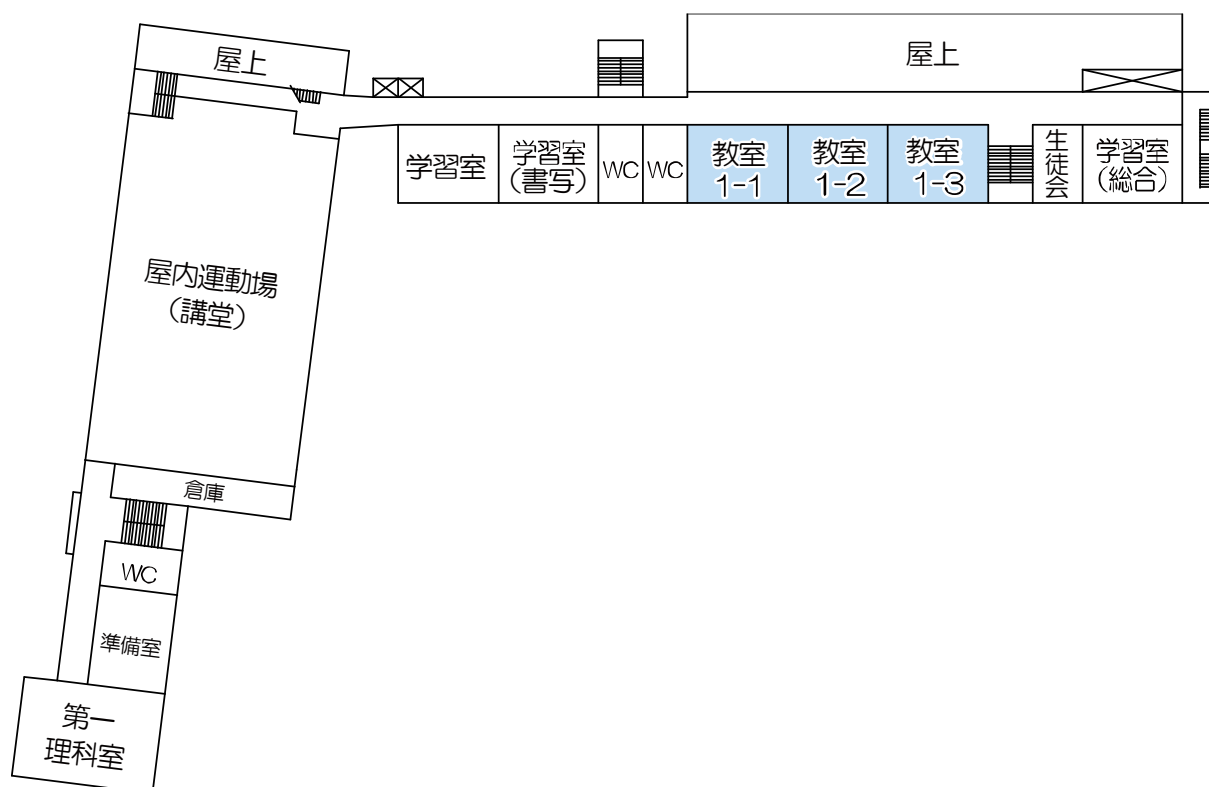
<2階平面図>



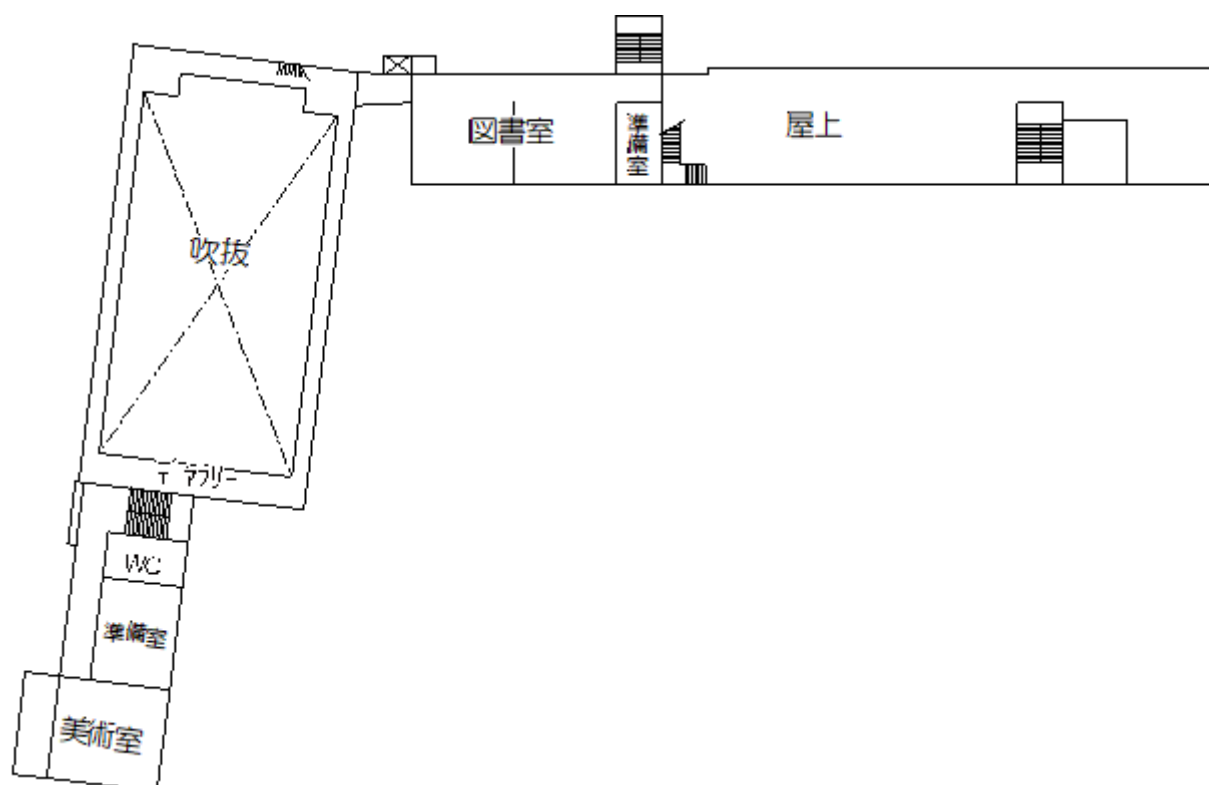
<諸室一覧>

教室	普通教室、特別支援学級（通級）、学習室
特別教室等	技術室(木工)、技術室(金工)、家庭科室(調理)、家庭科室(被覆)、第一理科室、第二理科室、音楽室、美術室、図書室、多目的室、生徒会室、更衣室、教材室、屋内運動場(講堂)

<3階平面図>



<4階平面図>



<諸室一覧>

管理諸室等	校長室、職員室、特別支援職員室、主事室、会議室、事務室、視聴覚室、放送室、職員更衣室、相談室、保健室、給食室、PTA室、WC、倉庫、機械室
-------	---

2. 建替えに係る条件等の整理

(1) 建替えスケジュール

千川中学校は、令和7年度の新校舎竣工に向けた改築工事を令和5年度より予定していましたが、仮校舎を旧真和中学校から旧平和小学校跡地へ変更することに伴い、建替えスケジュールが以下のとおり変更されました。

変更前（仮校舎が旧真和中の場合のスケジュール）

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
仮校舎		設計	改修	仮校舎に通学			
新校舎	考える会	基本設計	実施設計	改築工事			新校舎使用

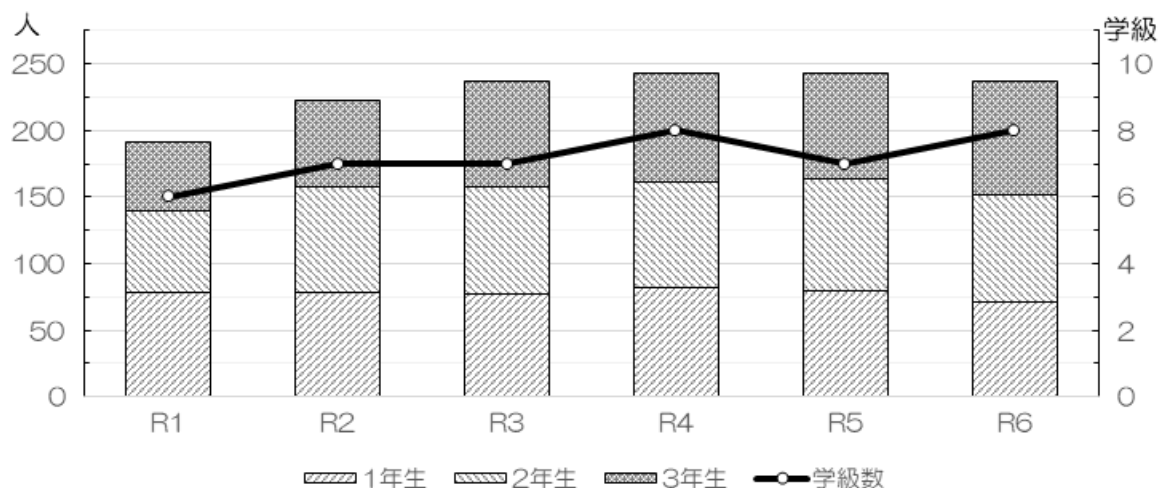
変更後（仮校舎が旧平和小の場合の 最短スケジュール）

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
仮校舎	内容検討	実施設計	仮校舎工事		仮校舎に通学		
新校舎	考える会		基本設計	実施設計	改築工事		新校舎使用

(2) 生徒数と学級数

出典元：令和3年度教育人口等推計（東京都教育庁）

	実数						推計					
	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数
1年生	78	2	78	3	77	3	82	3	79	2	71	2
2年生	62	2	79	2	81	2	79	2	84	3	81	3
3年生	51	2	65	2	79	2	82	3	80	2	85	3
計	191	6	222	7	237	7	243	8	243	7	237	8



(3) 学校の教育目標と機能

● 校訓

信 ・ 望 ・ 愛

● 教育目標

明日をになう人間性豊かな生徒を育成するために、次の目標を定めています。

深く考え、自ら学ぶ生徒
心あたたかで、礼儀正しい生徒
健康で、たくましい生徒

● 基本方針

- ・ 基本的生活習慣の定着と集団生活のルール遵守
- ・ 教育水準の継持・向上と基礎的・基本的内容の確実な定着
- ・ 少人数指導等の指導法の工夫とわかる授業の実践
- ・ 人権尊重を基盤とした「道德の時間」の充実
- ・ 「生きる力」の育成と個性の伸長
- ・ 心身の健康保持増進に努める態度の育成
- ・ 家庭地域・関係諸機関等との連携、生徒の健全育成の促進
- ・ 小・中連携教育の推進、特別支援教育の充実

● 特色ある教育活動

- ・ 毎朝「朝読書の時間」を設定、放課後には学習教室を行うなどして、基礎学力の定着・向上を図る。
※水曜トライアルスクール（漢字検定、英語検定、数学検定への取り組み）
- ・ 豊島区発「SDGs」実現に向け、いつもの学校生活に少し工夫を加えた持続可能な取り組みを推進する。
- ・ これまでの豊島区研究推進協力校の実績をもとに、生徒に防災意識を高めさせ、災害時における役割を考え行動できる生徒の育成に取り組む。
- ・ 防災教育や ISS（インターナショナルセーフスクール）の正式認証の取得に取り組む。
- ・ タブレット PC を中心とした ICT 機器を積極的に活用する。
- ・ 学習情報センターとしての充実を図るため、学校司書を中心に、学校図書館をさらに充実させ、生徒一人一人が主体的に学べる環境を進める。
- ・ 英語教育の充実（外国人講師の活用）
- ・ 数学・英語での少人数による指導。

● 部活動

運動部	文化部
・野球部 ・サッカー部 ・バスケットボール部 ・バドミントン部 ・バレーボール部 ・卓球部	・吹奏楽部 ・アートクラフト部 ・パソコン部 ・書道部

(4) 地域の特徴

● 都市づくりビジョン（都市計画マスタープラン）

- ・ 地域像：みどりとふれあいを人々が育む閑静なまち
- ・ まちづくりの主な視点
- ・ 安全・安心を実感できるまちづくり
- ・ 駅や公園を中心とした庶民的で暮らしやすいまちづくり
- ・ 利便性の高い閑静な住宅地を魅力にしたまちづくり
- ・ アトリエ村の面影を感じられるまちづくり
- ・ 寺社や個性のある公園、低層住宅地のみどりを生かしたまちづくり

● 地域の歴史地図



3. 建替え基本構想に係る提言

(1) コンセプト ～私たちの願い～



都市の文化と歴史に包まれて、
楽しく学び、仲間と集い、
地域と共に歩んでいく 千川中学校



このコンセプトには、大きく2つの趣旨があります。

まず、学校は生徒たちが学ぶ場であることを第一に考えたい、ということです。「誰よりもまず生徒たちにとって最も良い学校にしたい」という想いを前半の部分に込めています。

もう一つは、千川中の、地域とのつながりを大切にする校風をさらに伸ばしていきたい、ということです。

「地域の皆さんから常に温かく見守られていることに感謝し、さらに一歩進んだつながりを持てる学校にしたい」という想いを、後半の部分に込めています。

(2) 基本方針 ～こんな学校にしたい～

1：生徒たちの楽しい居場所となる学校

① 時代に沿った学習環境

- ・ ICT 環境の整備に対応した主体的で対話的な学習が行われる学校にしたい
- ・ 多様性を尊重した学びの場にしたい

② 心身の成長を育む空間

- ・ 学校に通うことが楽しく、明日また友達に会える場所にしたい
- ・ 勉強やスポーツへの向上心を高める環境にしたい
- ・ 物を大切にする心が育まれる学校にしたい
- ・ コロナ禍の経験を踏まえ、換気をしやすい、密になりにくい等、今までにない要素を取り入れた学校にしたい

③ のびのびと活動できる体育施設

- ・ 開放感のある空間にしたい
- ・ 広い校庭にしたい
- ・ 様々な競技ができる施設にしたい

2：千川中学校らしさが現れた学校

① 地域のシンボルとなる学校

- ・ 生徒会新聞の名前の由来にもなっているタイサンボクを大切にしたい
- ・ 新たに地域のシンボルとなるものが加わった学校としたい
- ・ 自然や四季を感じられる場所としたい
- ・ 道路沿いの樹木はできるだけ残し、緑の環境をつくりたい

② 地域の歴史を反映

- ・ 地域の歴史や景観を受け継いでいることを感じられる学校としたい

3：地域交流が生れる学校

① 伝統的・文化的な活動の場

- ・ホールや廊下はコモンスペースとして文化的活動の発表の場としたい
- ・引き続き地域のお祭りやイベントが開催できる校庭としたい

② 地域に開放できる多様な施設

- ・施設の動線を工夫して、地域交流が生れる学校にしたい
- ・体育館や校庭の開放に対応する更衣室や器具庫などを備えたい
- ・高容積が可能な地域・地区特性を利用して校舎全体を有効活用したい
- ・多様な施設になる場合は、生徒の学習環境に配慮しつつ相乗効果が望めるものとする

4：地域の防災拠点となる学校

① 施設の安全性の確保

- ・防犯設備、防災機能を万全としたい
- ・構造・設備とも災害に強い学校としたい
- ・安全な避難経路を有する学校としたい

② 災害用設備の充実

- ・救援センターとして位置付けられていることから、災害時に活用できる設備を整備したい

③ 避難生活に対応できる機能の確保

- ・避難所開設時は、多様な避難者が安心して避難生活を送れるよう、体育館の機能やトイレの配置など、福祉やバリアフリーの視点に配慮したつくりとしたい

(3) 整備方針 ～こんな風につくりたい～

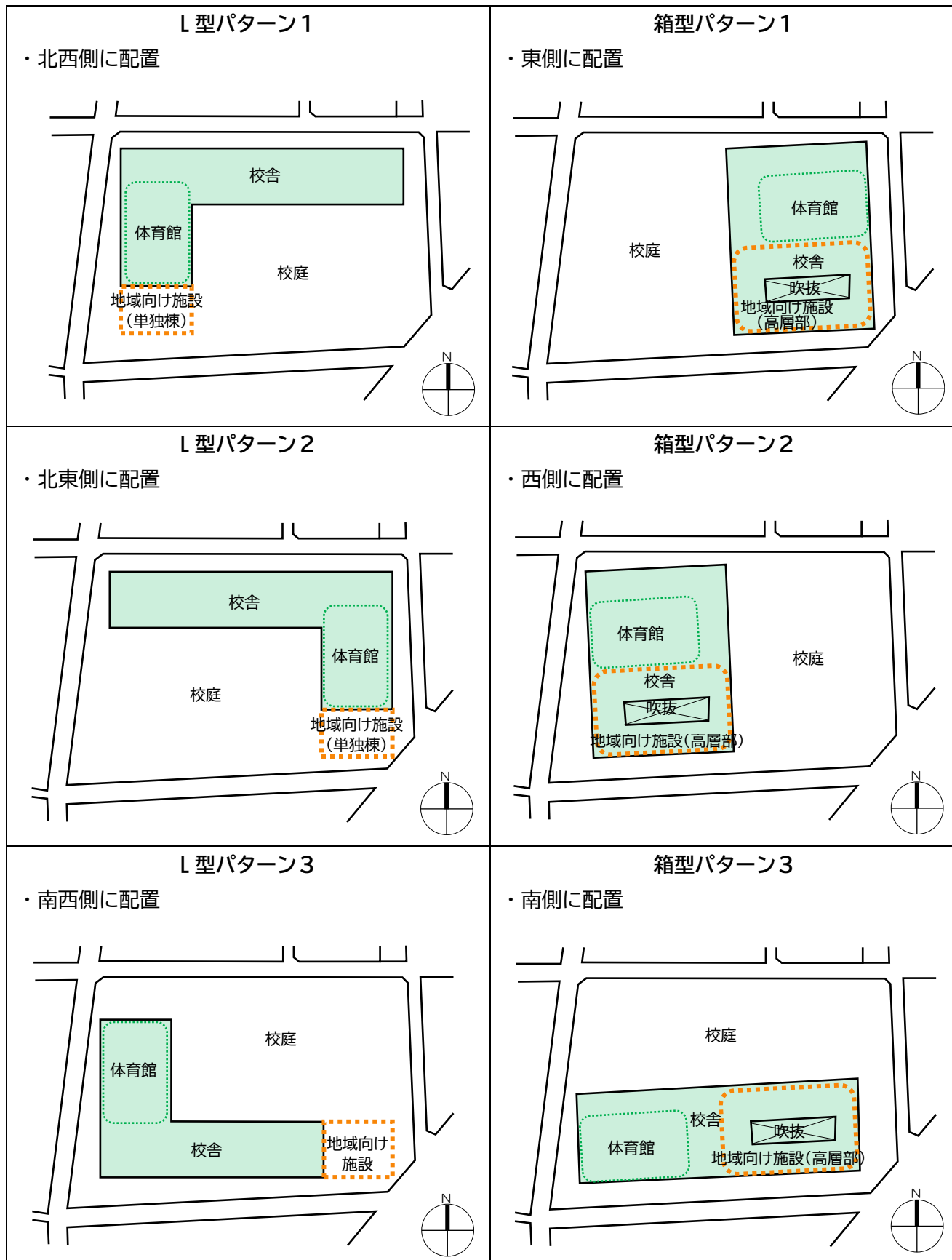
学校全体	設え	・仕上げ材には木材を取り入れて温かみのある優しい環境をつくる ・地域の文化や歴史を感じられる校舎にする ・地域のシンボルとなるものを表現する (タイサンボク、千川上水、農地から都市化への歴史)
	機能	・フレキシブルに使用できる可変可能な空間にする ・開放感を感じられる空間をつくる ・地域との交流が生まれる学校とする ・エレベーター設置を含みバリアフリーの建物とする ・2重サッシにするなど外部からの防音性能に配慮する ・防犯カメラの設置など防犯対策に配慮する ・防災機能を充実させる(防災備蓄倉庫、防災資機材倉庫、非常用発電設備、かまどベンチ、マンホールトイレ、防災井戸の設置、プールの水利用、雨水流出抑制など)
教室	普通教室	・学習に集中できるつくりとする ・楽しい居場所となるようなつくりとする ・生徒のONとOFFの切り替えに対応できる環境とする ・廊下との繋がりがあつくりなど廊下との仕切の意匠に配慮する (生徒数の変化や、生徒同士のつながりに配慮) ・部活道具等の荷物置き場を確保する ・GIGAスクール構想やオンライン教育等の教育環境の変化に対応する (ICT環境の充実、プロジェクター、大きな黒板、資料の充実等)
	特別支援教室	・インクルーシブ教育が受けられる環境を整備する ・出入の動線に配慮する ・個別指導スペースをつくる ・体を動かせるオープンスペースをつくる
	特別教室	・普通教室との効率的な動線に配慮する ・効率的な収納スペースをつくる
諸室・共用部	学習情報センター	・休み時間に気軽に集まれる空間にする ・生徒が利用しやすいカジュアルでオシャレな空間とする ・学年・学級の壁なく教えあう環境をつくる ・本に触れる機会が増えるように入りやすくする ・資料が充実しており、本を選ぶ楽しみが増える場所とする ・学習スペースが充実している ・リラックスできる空間をつくる ・地域の人利用について検討する ・学年単位でも集まれるような広い空間を設ける ・吹き抜け等を活かした開放的な空間とする
	管理諸室	・教職員の職場環境としても過ごしやすい環境とする
	トイレ	・綺麗で、居心地良い場所とする ・感染症対策を考慮する
	廊下	・生徒が集う場所や落ち着ける場所をつくる ・壁全面を掲示板として利用できるようにする

諸室・共用部	ホール	・他のクラスや学年間が交流できる場所とする ・クラスや部活の発表会ができる空間とする ・ミニ展示ホールとして利用できる
	集まれる場所	・自習室や部室をつくる ・開かれた空間で自由に使えるスペースをつくる ・部活や地域活動で利用できる音楽スタジオを検討する ・リラックスできる場所をつくる ・眺めの良い場所に生徒が交流する場を配置する ・雨でも開放感がある居場所をつくる ・草花を育てられる場所をつくる
体育施設等	体育館	・明るく開放的な空間とする ・高く、広い空間とする ・複数の部活動を同時にできる場所とする ・電動式バスケットゴールを検討する ・出入り口は多くつくる ・避難所の利用に配慮し1階に配置する ・屋外との連携が図りやすい構成とする
	プール	・使いやすく安全な位置に配置する（飛び地には建設しない） ・体育館の上など、開放感があるものとする（ただし、外からの視線や日差しにも配慮する） ・日よけ等、暑さ対策に配慮する ・屋根付きの温水プールを検討する ・防災水利とする
屋外	屋外、校庭	・複数の部活動を同時にできる場所とする ・野球ができる広さの校庭とする ・屋根のある運動スペースをつくる ・盆踊り等で利用できる ・地域との接点が生まれる距離感を保つ ・自然に親しむことができる場所をつくる ・緑豊かな環境とする ・門から昇降口までの動線を明確にする
環境への配慮		・現在の自然環境や雰囲気を継承する ・既存樹木の活用、新規樹木、屋上緑化、壁面緑化等、敷地内の緑化の推進を図る ・生徒たちの環境教育の場としての機能（太陽光発電、雨水利用、屋上緑化等）を整備する ・建物の断熱化や日射しを遮る工夫を施す
土地の有効活用ほか		・飛び地や余剰容積など、土地の有効活用を検討する ・余剰教室等、地域向け施設としての活用を検討する ・高齢者、児童、青少年施設等の併設を検討する ・地域の景観に配慮する

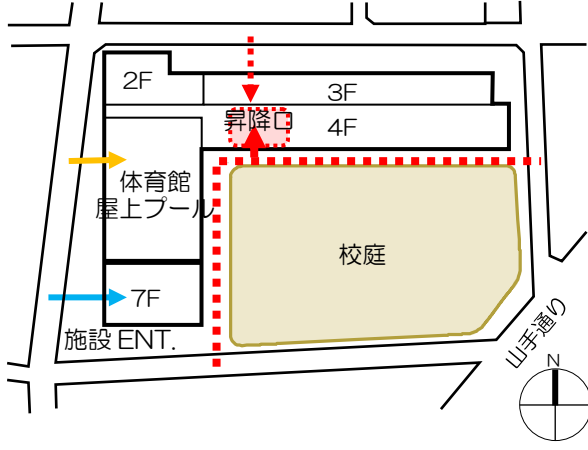
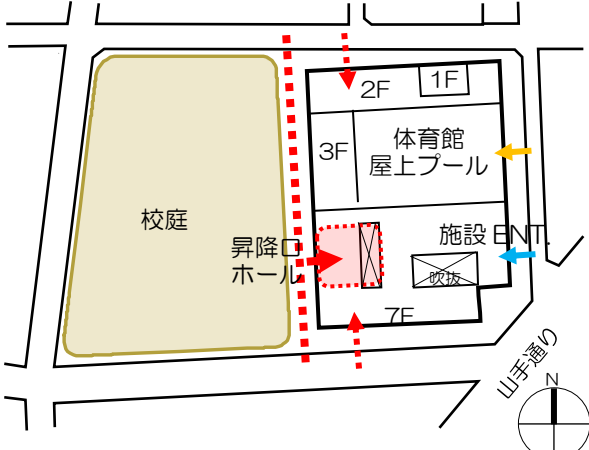
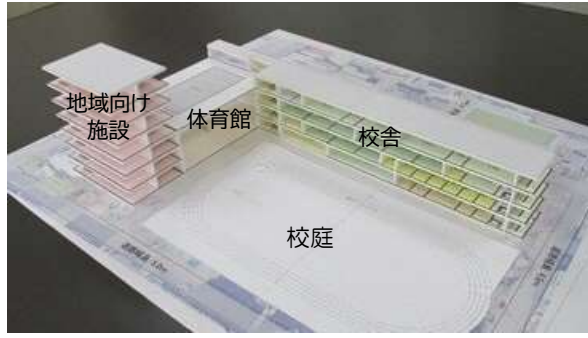
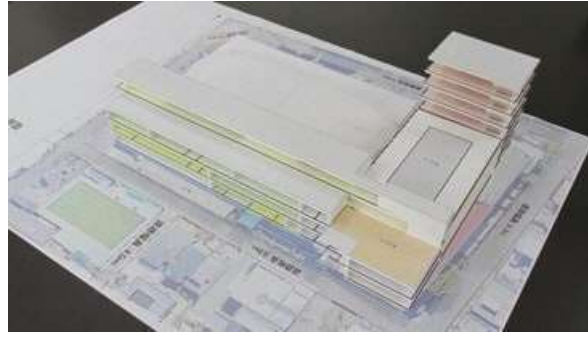
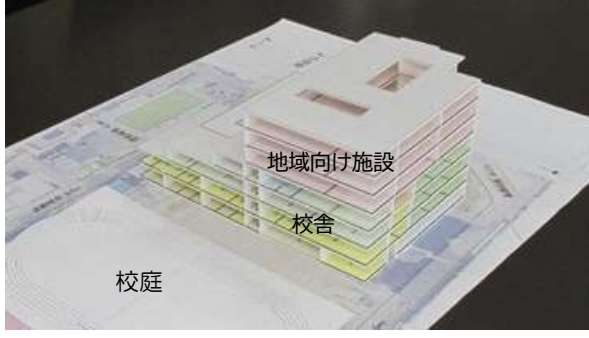
(4) 配置計画の検討

①校舎と運動場の配置パターン

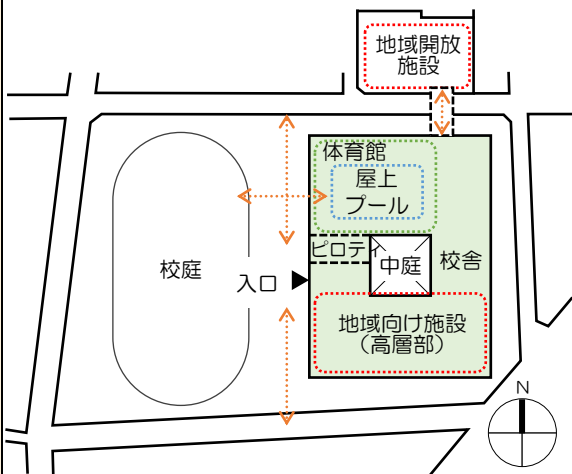
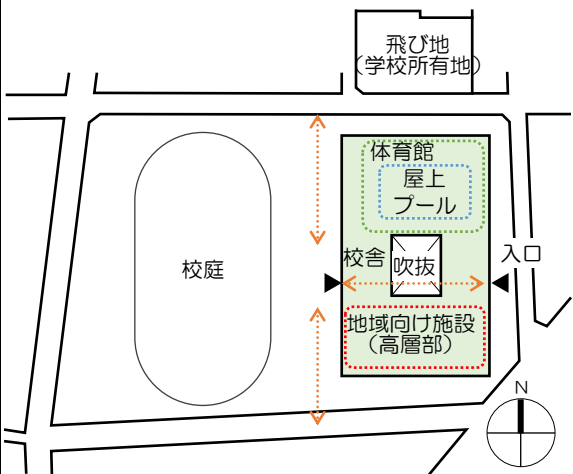
校舎配置は以下のような配置パターンが考えられる。基本パターンは現況配置のL型パターンとひとつの塊にまとめる箱型パターンである。



②典型モデルの比較

型	L 型北側配置案	箱型東側配置案
配置計画	・現況の配置と同タイプの配置計画 ・校庭は南側配置で既存樹木の存置が可能 ・体育館は1階、プールは体育館屋上に設置 ・地域向け施設は体育館の南側に単独棟として連結配置  配置計画のイメージ	・東側に校舎、西側に校庭を配置 ・中央部に採光と通風のための吹抜けを設置 ・体育館は1階、プールは体育館屋上に設置 ・校舎の南側は高度利用し、5階以上の階に福祉施設等を併設（1～4階に施設動線確保）  配置計画のイメージ
模型写真	 南側から北西方向を望む  北側から南東方向を望む 学校延べ面積：約 7,000 m² (4階建て) 施設延べ面積：約 2,700 m² (7階建て)	 南側から北東方向を望む  北側から南西方向を望む 学校延べ面積：約 7,600 m² (1～4階) 施設延べ面積：約 3,700 m² (5～7階)
長所	・地域向け施設の独立性が高いので管理区分及び動線計画が明確にできる。	・四周の道路空間が明るくなる。 ・変化のある校舎の空間構成が可能
短所課題	・単純な平面計画となりがちで、開放的な雰囲気や空間の面白みの演出に工夫を要する。 ・プールは多少日陰になる。	・学校と地域向け施設との管理区分及び動線区分に工夫を要する。 ・プールは日陰になる。

③配置計画のバリエーション

型	A 案	B 案
配置計画		
模型写真		
長所	・西側の道路空間が明るくなる ・校庭が広く取れる ・動線がコンパクトに収まる ・校庭と体育館の行き来がしやすくなる ・変化のある校舎の空間構成が可能	・西側の道路空間が明るくなる ・校庭がより広く取れる ・動線がコンパクトに収まる ・変化のある校舎の空間構成が可能
短所・課題	・東側の日影を抑える工夫が課題 ・地域向け施設を設ける場合、学校との管理区分及び動線区分に工夫を要する ・飛び地との接続に課題（空中歩廊等）	・東側の日影を抑える工夫が課題 ・上下階移動が比較的多くなる ・地域向け施設を設ける場合、学校との管理区分及び動線区分に工夫を要する ・プールが一部日影になる ・飛び地の活用が課題

型	C 案	D 案
配置計画	飛び地 (学校所有地) 体育館 屋上 プール 校舎 地域向け 施設 (高層部) 校庭 入口 N	飛び地 (学校所有地) 体育館 屋上 プール 校舎 校庭 地域向け 施設 入口 N
模型写真		
長所	・西側の道路空間が明るくなる ・やや不整形だが、校庭が広く取れる ・校庭と体育館の行き来がしやすくなる	・地域向け施設を設ける場合、学校との管理区分及び動線計画を明確にできる ・校庭と体育館の行き来がしやすくなる ・北側への日影等の影響が少なくなる
短所・課題	・東側の日影を抑える工夫が課題 ・単純な平面計画となりがちで、開放的な雰囲気や空間の面白みの演出に工夫を要する ・校舎の端から端までの動線が長くなる ・地域向け施設を設ける場合、学校との管理区分及び動線区分に工夫を要する ・飛び地の活用が課題	・東側の日影を抑える工夫が課題 ・単純な平面計画となりがちで、開放的な雰囲気や空間の面白みの演出に工夫を要する ・校舎の端から端までの動線が長くなる ・校庭が狭く、かつ一部日影になる ・プールが一部日影になる ・飛び地の活用が課題

資料編

1. 豊島区教育ビジョン2019（抜粋）

●豊島区教育委員会の教育目標

豊島区教育委員会は、幼児・児童・生徒に対する豊島区の教育が目指すべき目標として、以下のように教育目標を定めています。

豊島区教育委員会の教育目標

豊島区教育委員会は、幼児・児童・生徒（以下、「子供」という）が知性、感性、道徳心や体力を育み、人間性豊かに成長することを願い、

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 地域社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造性豊かな人間

の育成に向けた教育を重視する。

また、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を担い、豊かな環境の中で、子供たちが、生涯にわたって主体的に文化やスポーツに親しむことができる人間として成長するよう関係諸機関等との一層の連携を図る。

さらに、教育は、家庭、学校及び地域のそれぞれが連携して行わなければならないものであるとの認識に立って、すべての区民が教育に参加することを目指していく。

（平成29年12月 豊島区教育委員会決定）

●7つの基本方針

国や都の教育政策の動向、様々な課題を踏まえ、豊島区が目指す教育を実現するために、次の7つの基本方針を掲げ、各施策に取り組んでいきます。

基本方針1 生きる力の土台となる就学前教育の充実

基本方針2 確かな学力の育成

基本方針3 豊かな心の育成

基本方針4 健やかな体の育成

基本方針5 一人一人を大切にする教育の推進

基本方針6 教師力の向上と魅力ある学校づくり

基本方針7 家庭と地域の教育力の向上

2. 「千川中学校の建替え等を考える会」の活動記録

回数・開催日	議題	参加者数
第1回 令和2年 7月31日	○千川中学校の建替え等を考える会の設立と進め方について ○仮校舎の変更について	18名
第2回 令和2年 9月11日	○改築スケジュールの変更について ○千川中学校の現況等について ○考える会ニュースについて	17名
第3回 令和2年 11月13日	○講演：「未来の学校づくり」について 講師：長澤悟氏 (東洋大学名誉教授、株式会社教育環境研究所理事長) ○アンケート調査について	18名
アンケート調査		
視察 令和2年 12月17・18日	○巣鴨北中学校	15名
第4回 令和3年 3月24日	○委員の紹介 ○ワークショップ① テーマ：学校への想いを語ろう	16名
第5回 令和3年 6月28日	○ワークショップ② テーマ：めざしたい学校の風景	21名
第6回 令和3年 7月21日	○ワークショップ③ テーマ：めざしたい学校の風景2	14名
第7回 令和3年 8月27日	○ワークショップ④ テーマ：提言書（案）～大切にしたいこと～	16名
第8回 令和3年 9月14日	○提言書（案）について ○地域説明会について	17名
説明会 令和3年 10月26日	○会長あいさつ ○委員紹介 ○提言書（案）の説明 ○質疑応答	21名 参加者 13名
第9回 令和3年 11月16日	○提言書について ○区長提言について	16名
区長提言 令和3年 12月（予定）	○区長提言	

3. 千川中学校の建替え等に関するアンケート調査の実施

千川中学校の建替えを検討する際の参考とするために、現在校舎を利用している生徒や職員、将来、千川中学校を利用することになる近隣小学校の生徒、また関係する保護者や地域住民に対するアンケート調査を行いました。

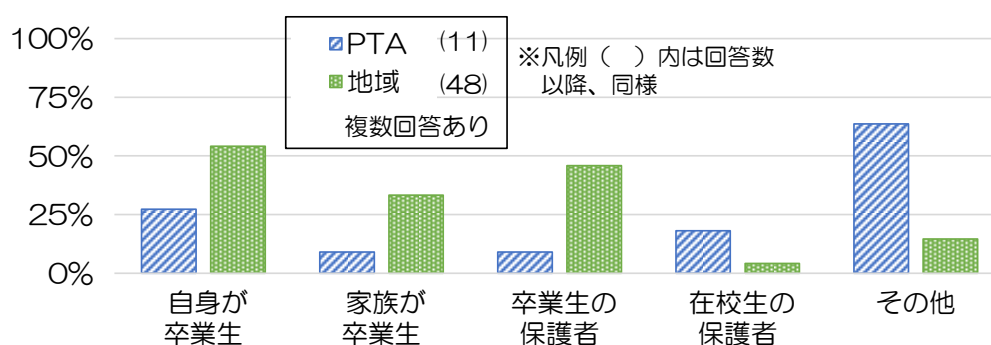
(1) アンケート調査の概要

- ・ 実施期間 令和2年11月末～12月25日
- ・ 配布方法 直接配布
- ・ 配布数・回答率 全体 512/886件（58%）

	高松小		要小		総計		千川中			総計
	(件)	5年	6年	5年	6年	(件)	1年	2年	3年	
配布数	101	89	56	59	305	配布数	78	80	64	222
回答数	63	25	53	59	200	回答数	74	66	56	196
回答率	62%	28%	95%	100%	66%	回答率	95%	83%	88%	88%

	保護者	PTA	地域	教職員	総計
配布数	222	20	102	15	359
回答数	44	11	48	13	116
回答率	20%	55%	47%	87%	32%

大人（PTA・地域）の千川中との関わり



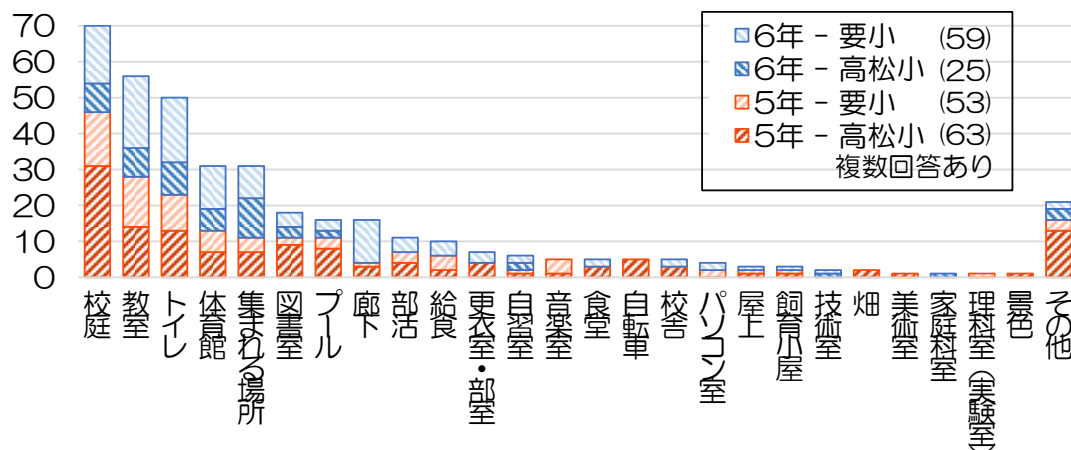
- ・ 回答率は58%で、半数以上の方が回答しています。
- ・ 大人（PTA・地域）の千川中学校との関わりを見ると、「自身が卒業生」が、地域の方で約50%、PTAで約25%と、中学校と関わりの深い方がたくさん見受けられます。

(2) アンケート調査の結果

児童（小学5～6年）

アンケート
結果について

「どんなもの」や「どんな場所」があるとよいですか



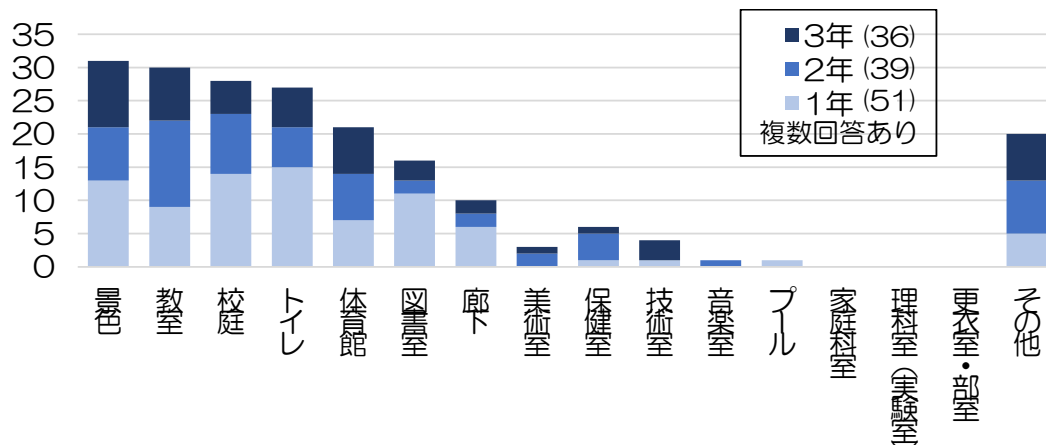
➤ 教室		
・ 広い教室	16	
・ きれいな教室	15	
・ 教室にエアコン	7	
・ みやすい黒板	5	
➤ 集まれる場所		
・ ランチルーム	5	
・ 集まってしゃべる場所	15	
・ 室内で遊べる場所	5	
・ 休憩できる場所	7	
➤ 図書室		
・ 広い図書館	16	
➤ 諸室		
・ 自習室	6	
➤ トイレ		
・ きれいなトイレ	41	
・ 広いトイレ	5	
➤ 廊下		
・ エレベーター	5	
➤ 体育館		
・ 広い体育館	20	
・ 体育館にエアコン	5	
➤ プール		
・ 屋内プール	8	
➤ 校庭		
・ 広い校庭	40	
・ 人工芝の校庭	6	
・ 芝生の校庭	6	
・ 部活設備(コート等)	6	

- 意見を場所別に整理した結果、「校庭（70）」「教室（56）」「トイレ（50）」と、**普段使う場所への意見**が多く見られました。
- 意見の内訳では、「広い校庭（40）」「広い体育館（20）」「広い教室（16）」「広い図書室（16）」等、**広い中学校への期待**が伺えます。
- また、「きれいなトイレ（41）」「きれいな教室（15）」等、**きれいさへの期待**も高くなっています。
- 新しい機能として、「集まってしゃべる場所（15）」等の**友達と過ごせる場所**や、「休憩できる場所（7）」「自習室（6）」等の**静かな部屋**も欲しいという声がありました。
- 設備面では、「教室のエアコン（7）」「体育館のエアコン（5）」「エレベーター（5）」「屋内プール（8）」への関心が多くあげられています。

生徒（中学1～3年）

アンケート
結果について

良いと思うところ・気に入っているところ・残したいところ



➤ 教室

- ・ 教室がきれい 4
- ・ 教室が広い 3
- ・ 行き来がしやすい 3
- ・ 仲が良い 3

➤ 図書室

- ・ 図書室が広い 11
- ・ 図書室が静か 5

➤ 保健室

- ・ 保健室が外から出入りしやすい 4

➤ 廊下

- ・ 廊下が広い 4

➤ トイレ

- ・ トイレがきれい 22

➤ 体育館

- ・ 体育館にエアコンがある 6
- ・ 体育館が広い 4
- ・ 遊べる 3

➤ 校庭

- ・ 校庭が広い 10
- ・ 樹木 9
- ・ 池 6
- ・ 土の校庭 5

➤ 景色

- ・ 美術室からの眺めがよい 14
- ・ 図書室からの眺めがよい 12

➤ その他

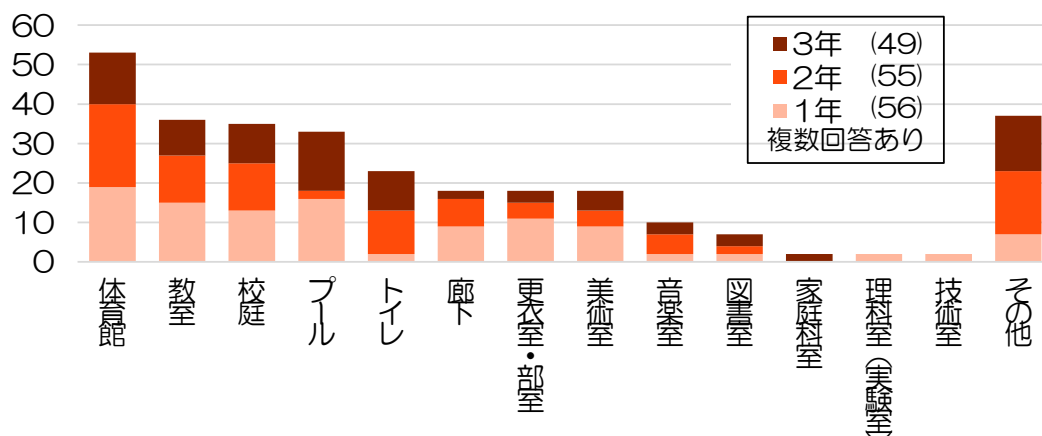
- ・ 校舎が古い（趣がある） 3
- ・ 冷水機 3

- 意見を場所別に整理した結果、児童の意見と同様に「景色（31）」「教室（30）」「校庭（28）」「トイレ（27）」に関する意見が多くなっています。
- 意見の内訳をみると、景色に関しては、「美術室からの眺めがよい（14）」「図書室からの眺めがよい（12）」等、多くの生徒が、**上階からの眺めの良さ**をあげています。
- 教室や校庭に関しては、「教室がきれい（4）」「教室が広い（3）」「行き来がしやすい（3）」、「校庭が広い（10）」「樹木（9）」「池（6）」「土の校庭（5）」等、さまざまな理由があげられています。
- トイレが新しくなったこともあり、「トイレがきれい（22）」と、**きれいなトイレが安心して使える場所の1つ**になっています。

生徒（中学1～3年）

アンケート
結果について

変えたいところ・不便と感じるところ・良くないところ



➤ 教室

- ・ 教室が古い 9
- ・ エアコンが効かない 7
- ・ 黒板が上げ下げできない 5
- ・ ロッカーが不便 4

➤ 諸室

- ・ 美術室が遠い 16
- ・ 音楽室の床が汚い 8
- ・ 図書室が遠い 7

➤ 廊下

- ・ 廊下が狭い 4

➤ トイレ

- ・ トイレが汚い 14
- ・ トイレが汚い（1階） 5

➤ 体育館

- ・ 体育館が狭い 28
- ・ 体育館の天井が低い 14

➤ プール

- ・ プールが遠い 19
- ・ プールが寒い 9
- ・ プールが汚い 5

➤ 更衣室・部室

- ・ 更衣室が狭い 9
- ・ 更衣室が汚い 5

➤ 校庭

- ・ 土の校庭 18
- ・ 校庭が狭い 7

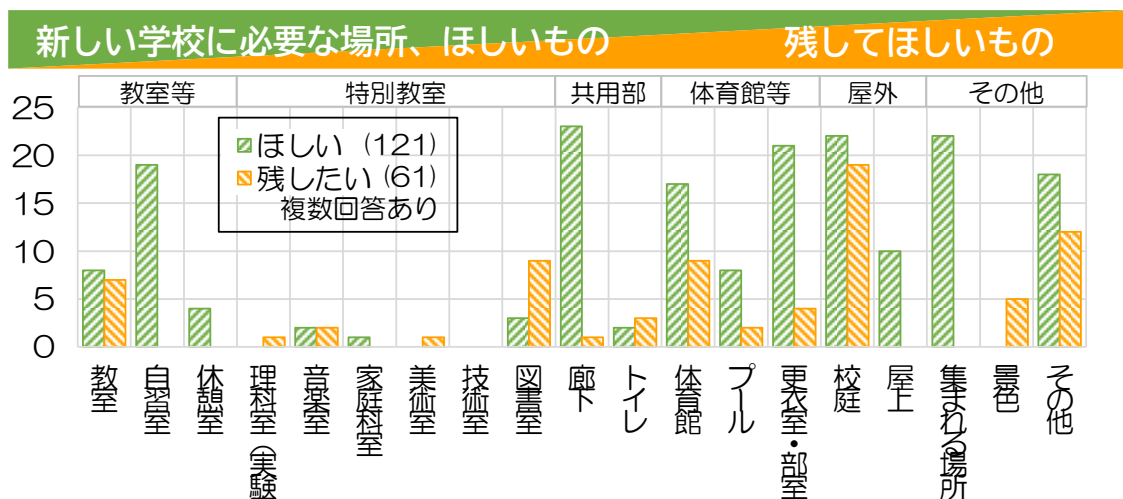
➤ その他

- ・ 屋上が使えない 8
- ・ 汚れている 6

- 意見を場所別に整理した結果、「体育館（53）」「教室（36）」「校庭（35）」「プール（33）」等の意見が多く、特に**運動する場所の不便さ**が目立つ結果となりました。
- 意見の内訳をみると、体育館に関しては、「体育館が狭い（28）」「体育館の天井が低い（14）」となっており、**部活動なども含め活発な活動をするには小さい**という意見が大半です。
- 教室に関しては、「教室が古い（9）」「エアコンが効かない（7）」「黒板が上げ下げできない（5）」「ロッカーが不便（4）」等、利用者ならではの視点も含め、**快適な学習環境を望む声**があげられています。
- 校庭やプールに関しては、「プールが遠い（19）」「土の校庭（18）」の意見が多くなっています。

生徒（中学1～3年）

アンケート
結果について



◆ ほしい

- 自習室
 - ・ 自習室 19
- 廊下
 - ・ エレベーター 14
- 体育館
 - ・ 部活の練習場 7
- プール
 - ・ 屋内プール 5
- 更衣室・部室
 - ・ 部室 15
- 校庭
 - ・ バasketボールゴール 6
- 集まれる場所
 - ・ みんなで集まれる場所 16
- その他
 - ・ 屋上の開放 10
 - ・ 新しい備品類 6

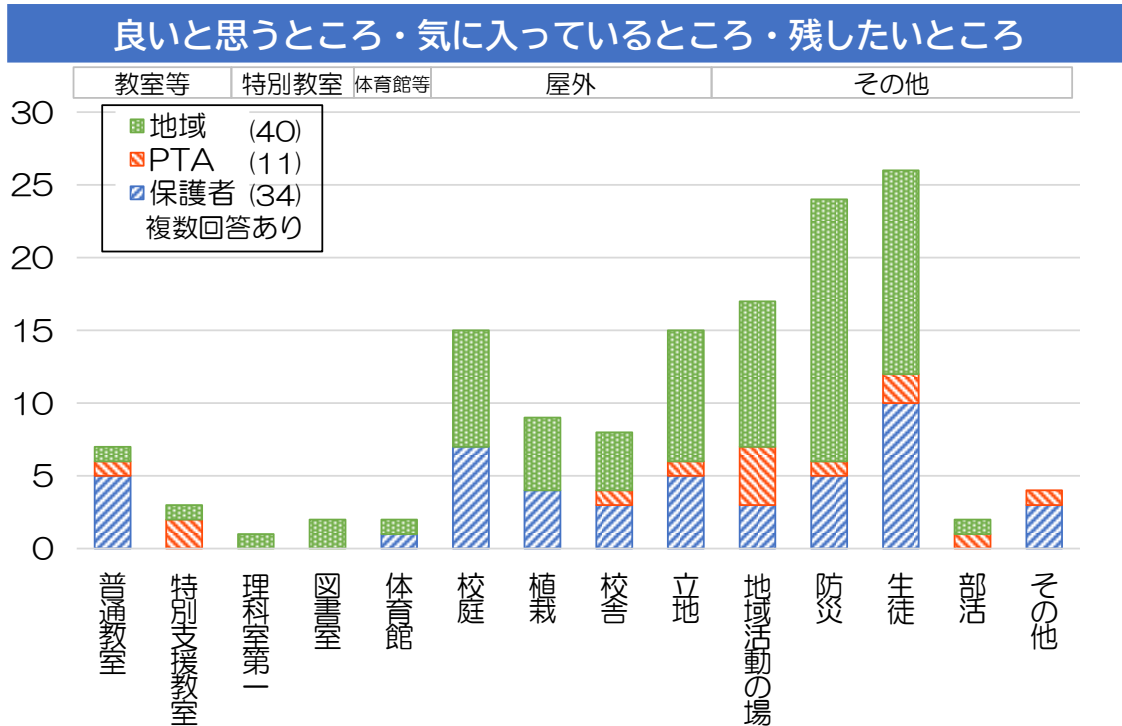
◆ 残したい

- 図書室
 - ・ 図書室 8
- 体育館
 - ・ 体育館 9
- 更衣室・部室
 - ・ 部室 5
- 校庭
 - ・ 土の校庭 7
 - ・ 樹木 7
- 景色
 - ・ 景色 5

- 新しい学校に欲しいものを場所別に整理すると、「廊下（23）」「校庭（22）」「集まれる場所（22）」「更衣室・部室（21）」の意見が多く、**部活や友達との居場所に関する意見が多くなっています。**
- 意見の内訳をみると、廊下に関しては、「エレベーター（14）」であり、**身体が不自由な方でも移動しやすい環境への期待が多数を占めています。**
- 更衣室・部室に関しては、「部室（15）」となっており、**部活の道具を置いたり活動する場所が欲しいという意見が多数みられました。**
- 残したいものを場所別に整理すると、「校庭（19）」「図書室（9）」の意見が多くなっています。
- 意見の内訳をみると、校庭に関しては、「土の校庭（7）」「樹木（7）」となっています。なお「校庭の土」に関しては、賛否両論あがっています。

大人（保護者・PTA・地域）

アンケート
結果について



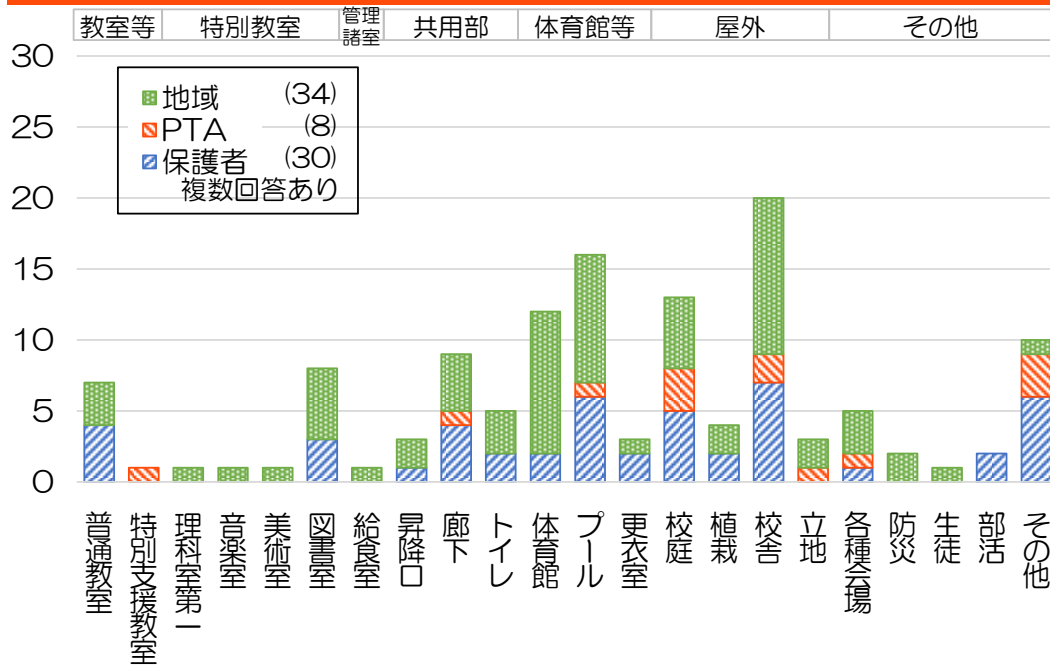
- 校庭
 - ・ 樹木 10
 - ・ 土の校庭 6
- 立地
 - ・ 立地が良い 15
- 地域活動の場
 - ・ 町会イベント 16
- 防災
 - ・ 防災 (ISS) 活動 10
 - ・ 防災備蓄庫 10
- 生徒
 - ・ 生徒が良い 24

- 意見を場所別に整理した結果、「生徒 (26)」「防災 (24)」「地域活動の場 (17)」となっており、登下校時や地域交流に関する意見が多くなっています。
- 意見の内訳をみると、生徒や防災に関しては、あいさつ等「生徒が良い (24)」や、「防災 (ISS) 活動 (10)」等、**生徒たちが地域に見守られている様子**がうかがえます。
- 地域活動の場に関しては、「町会イベント (16)」であり、盆踊りや餅つき、ラジオ体操等、**地域交流が盛んにおこなわれている良さ**があげられています。
- その他、「立地」では静けさや地域との距離感、「校庭」では道路沿いの樹木等が、中学校の良さとしてあげられています。

大人（保護者・PTA・地域）

アンケート
結果について

変えたいところ・不便と感じるところ・良くないところ



- 図書室
 - ・ 図書館が小さい 4
 - ・ 図書館の場所が不便 4
- 諸室
 - ・ 地域で使える部屋 4
- 体育館
 - ・ 体育館の位置が悪い 9
- プール
 - ・ プールが離れている 16

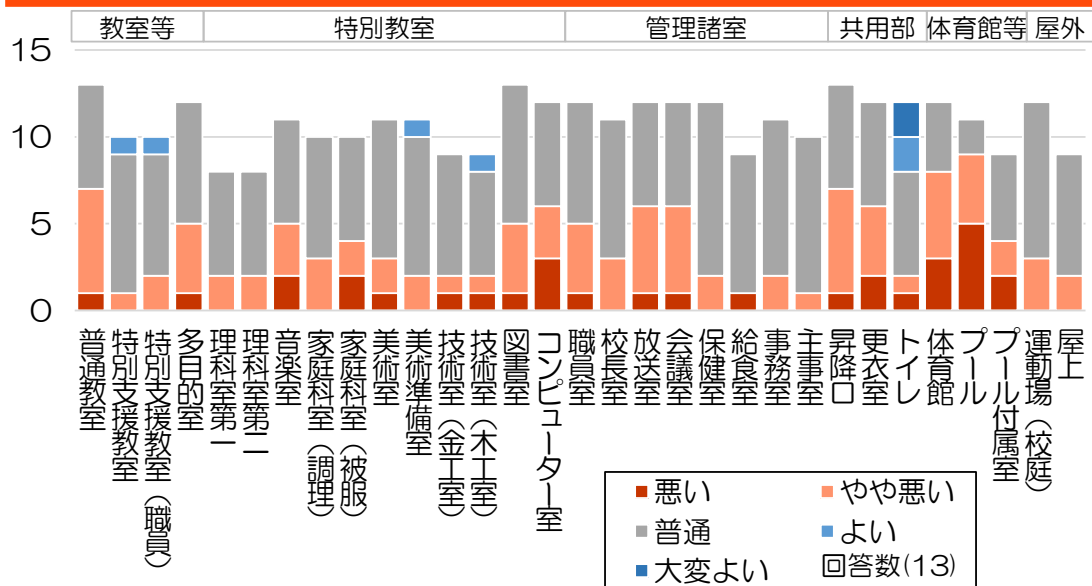
- 校庭
 - ・ 土の校庭 4
- 校舎
 - ・ 門の位置 8
 - ・ 暗い 4

- 意見を場所別に整理した結果、「校舎（20）」「プール（16）」「校庭（13）」「体育館（12）」となっています。
- 意見の内訳をみると、校舎に関しては、「門の位置（8）」であり、**門の位置を変えたり増やしたりしてほしい**という意見があります。
- プールに関しては、「プールが離れている（16）」であり、大人から見ても、**離れたプールは不便で好ましくない**という意見になっています。
- 体育館に関しては「体育館の位置が悪い（9）」「階下がうるさくなる（3）」があげられており、**上階にあると日常・災害時とも利用しづらい**ことがあげられています。

大人（教職員）

アンケート
結果について

変えたいところ・不便と感じるところ・良くないところ



◆よい・大変よい

➤ トイレ

- ・新しくきれい 1

◆やや悪い・悪い

➤ プール

- ・プールが離れている 5

➤ 体育館

- ・ステージが狭い 3
- ・階下がうるさくなる 2

➤ 昇降口

- ・古い 3

➤ 普通教室

- ・狭い 3

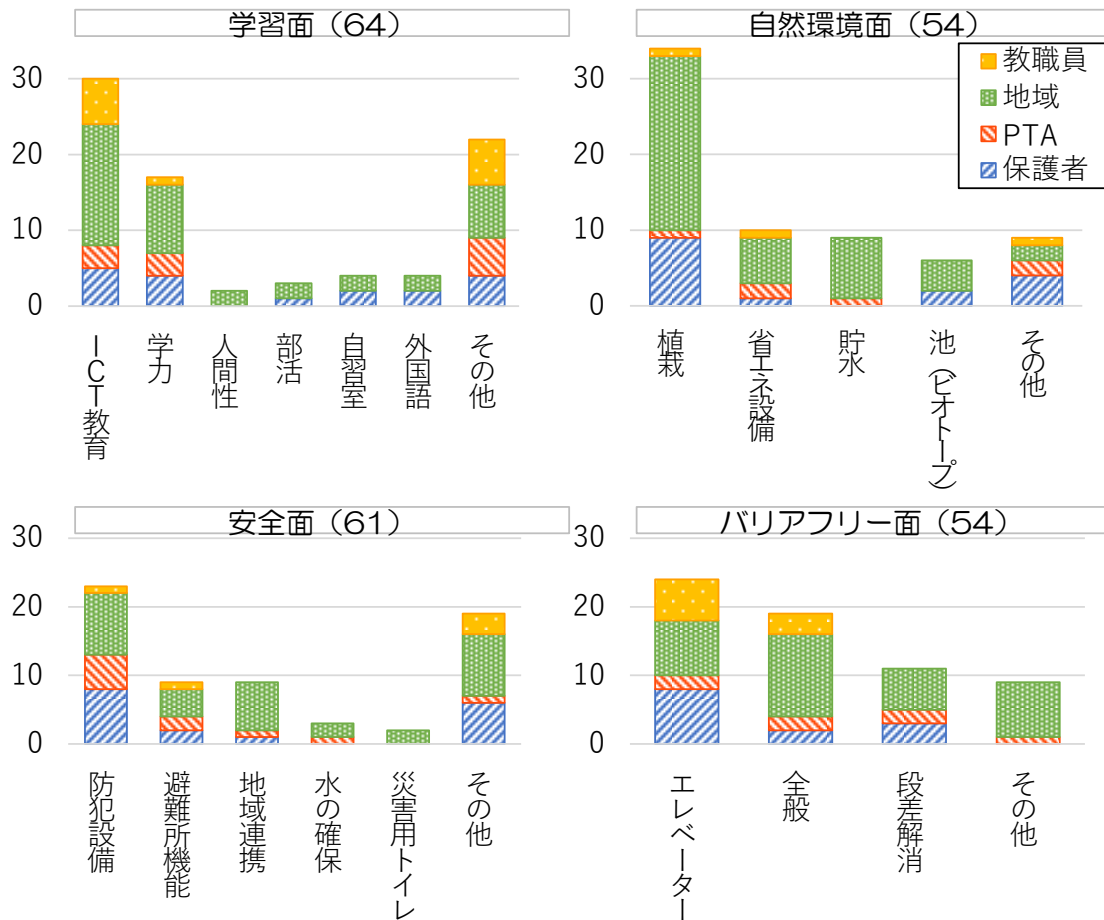
※教職員さんへのアンケートでは5段階評価で回答いただいています

- 「よい・大変よい」では、「トイレ（4）」が多く、新しくきれいになったことが評価されています。
- 「やや悪い・悪い」では、
 - ・ 「プール（9）」が最も多く、意見として「プールが離れている（5）」があげられています。
 - ・ 「体育館（8）」が次に多く、意見として「ステージが狭い（3）」「階下がうるさくなる（2）」があげられています。なお、階下の職員室・校長室・会議室の意見でも、体育館がうるさいとの意見があがっています。
- その他、
 - 「普通教室（7）」では、部屋の狭さ
 - 「昇降口（7）」では、古さや段差、校門までの距離
 - 「コンピューター室（6）」ではタブレット導入に伴い使わなくなったことがそれぞれあげられています。

大人（保護者・PTA・地域・教職員）

アンケート
結果について

新しい学校に必要な場所、ほしいもの



● 学習面

- ・「ICT教育（30）」「学力（17）」となっており、**新しい学習環境**が期待されています。
- ・詳細意見では、「ネットワーク環境の改善（13）」「黒板に代わるICT機器（11）」「個別学習（4）」「便利なロッカー（4）」等があげられています。

● 自然環境面

- ・「植栽（34）」「省エネ設備（10）」「貯水（9）」となっています。
- ・詳細意見では、校庭樹木や壁面の「**緑化**（25）」や、「ビオトープ（8）」「太陽光発電（7）」「貯水槽（8）」があげられています。

● 安全面

- ・「防犯設備（23）」「避難所機能（9）」「地域連携（9）」となっています。
- ・詳細意見では防犯カメラやオートロック等の**防犯設備に関する意見が非常に多く**あげられています。

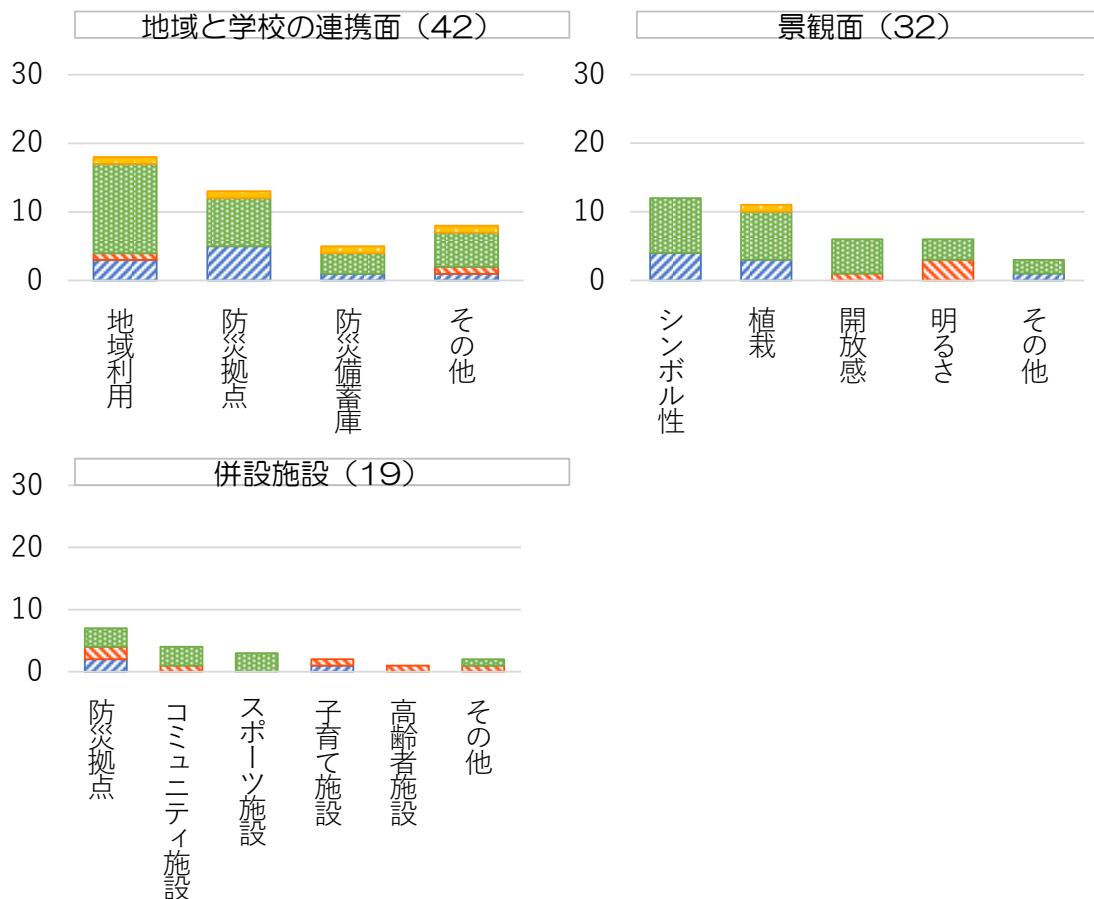
● バリアフリー面

- ・「エレベーター（24）」「バリアフリー全般（19）」「段差解消（11）」となっています。
- ・**非常時の地域利用も含め、バリアフリー化は必須機能**という意見が多くあげられています。

大人（保護者・PTA・地域・教職員）

アンケート
結果について

新しい学校に必要な場所、ほしいもの



● 地域と学校の連携面

- ・「地域利用（18）」「防災拠点（13）」の意見が多くあげられています。
- ・詳細意見は、今まで同様「地域イベント（8）」「防災備蓄庫（5）」に加え、「学校開放（8）」や「防災拠点機能の充実（11）」があげられており、**より一層地域の関わりを深めたい**という期待が込められています。

● 景観面

- ・「シンボル性（12）」「植栽（11）」となっており、**都会の学校として、温もりを持ちつつ地域の顔になる**ことが期待されています。

● 併設施設

- ・「防災拠点（7）」をはじめ、様々な機能を併設することで、**地域交流や世代間交流が活発に行われる中学校**にしたいという意見があげられています。

● その他

- ・千川という名称を踏まえた「歴史の継承（3）」や、インクルーシブ教育やコロナ時代の施設環境といった先進的な機能の導入等、**現在だけでなく、過去と未来も踏まえた中学校づくり**への意見があげられています。

その他自由意見

※原文のまま引用

● 歴史文化の意見

- この地域は江戸時代、千川上水が引かれ、そこから農業用水を分けてもらい畑作農業が盛んになった。名物は長崎ニンジン。農業用水の余りは谷端川にそそいだ。戦前にアトリエ村もあった。戦後は池袋が栄えたが、この地域は不便だった。有楽町線ができ大きく変わった。住宅やアパートマンションが増えた。そうした歴史が反映されるような学校を作ってください。「ふくろう」は関係ないですから。
- 大変難しい件だと思いますが、千川中学校という学校名が理解できるように私たちも含めて子供たちに伝えてほしいと思います（高松にあるのに千川とは）。
- 卒業は60年前になるので思い出深いものがあるが、しっかりとした建物であればいい。

● その他の提案

- インクルーシブ教育について国際的には目覚ましい発展が見られるにも関わらず、日本の遅れは嘆かわしいことです。このままだとスペインのように日本も条約違反国と記載される懸念があります。この東京から、豊島区から、そして千川中学校から、日本のインクルーシブ教育を国際的に通用するものに変えていけたら、地域住民として嬉しく思います。インクルーシブ教育に関心のある豊島区外の多くの方々にも今回の千川中学校の建替えに希望を持って見守ってられます。一市民として協力できることがございましたら何でもさせて顶きたいと思っています。
- 学校に行きたいと思えるような校舎や設備になると良いと思います。コロナ等、換気をしやすい、密になりにくい等、今までにない要素を取り入れる必要が出てきて、より大変な建替えになるかもしれませんが、考える会などの活動をしていただきありがたいと思います。地域の方にも親しまれる学校になることを願います。
- グラウンドに地下貯水槽の話が出ていますが希望します。地域の高齢者保護者との拠点の場があると良いと思います。地域の青年会、町会との拠点の場があると良いと思います。
- せっかく建替えるのなら日本初や世界初といった要素を取り入れてほしい。

● 質問・要望

- 移転中の仮校舎への通学については、バス等を用意するのでしょうか？中学生なので歩けない距離とは思いますが、荒天時を考えると必要かと思います。
- 小学校から進学予定ですので早め早めに情報開示していただき、安心して進学を選べるようにしてほしいです。校舎を移動する年に当たる場合もなるべく子供に過度な負担とならないよう環境面で配慮してほしいです（先生の配置、学習など）。
- もっと地域の方に対して情報を発信してほしい。

● 期待など

- 委員の一人です。保護者目線からしかどのようにしたら良いか分からず、見地の狭い部分があると思います。普段の使い勝手や設備面は、教職員の方々、勉強をする立場の生徒の意見に重きを置き、その他地域との関わりについての部分を委員たちがまとめて、教職員、生徒、委員の全ての方々が納得できる、また永く愛される千川中が出来れば良いと思います。
- 環境が良くなるのであれば大いに賛成。
- コロナ禍の中、なかなか思うように進まないことも多いと思いますが、頑張ってください！新校舎とても楽しみです！
- 今回、建替えの際の仮校舎が近くなったこと、とても良かったと思います。意見してくださった方々、本当にありがとうございました。私の子供達は建て替えがある、建て替えがあるとずっと言われ延期になり、結局、皆、今の古い校舎で過ごすことができ、良かったです。これから大変な時期になると思いますが、新校舎を楽しみにしています。ずっと昔から続いてきた伝統を守りつつ、今の時代に合った学校づくりをお願いします。
- 建替え後がどのようになるのか楽しみにしています。
- 建て替えて地元がまた明るくなると嬉しいです。いろいろな意見があっても大変だと思いますが頑張ってください。
- よろしくお願いします。

4. ワークショップの内容

ワークショップ①（第4回考える会：令和3年3月24日）

（1）テーマ：学校への想いを語ろう

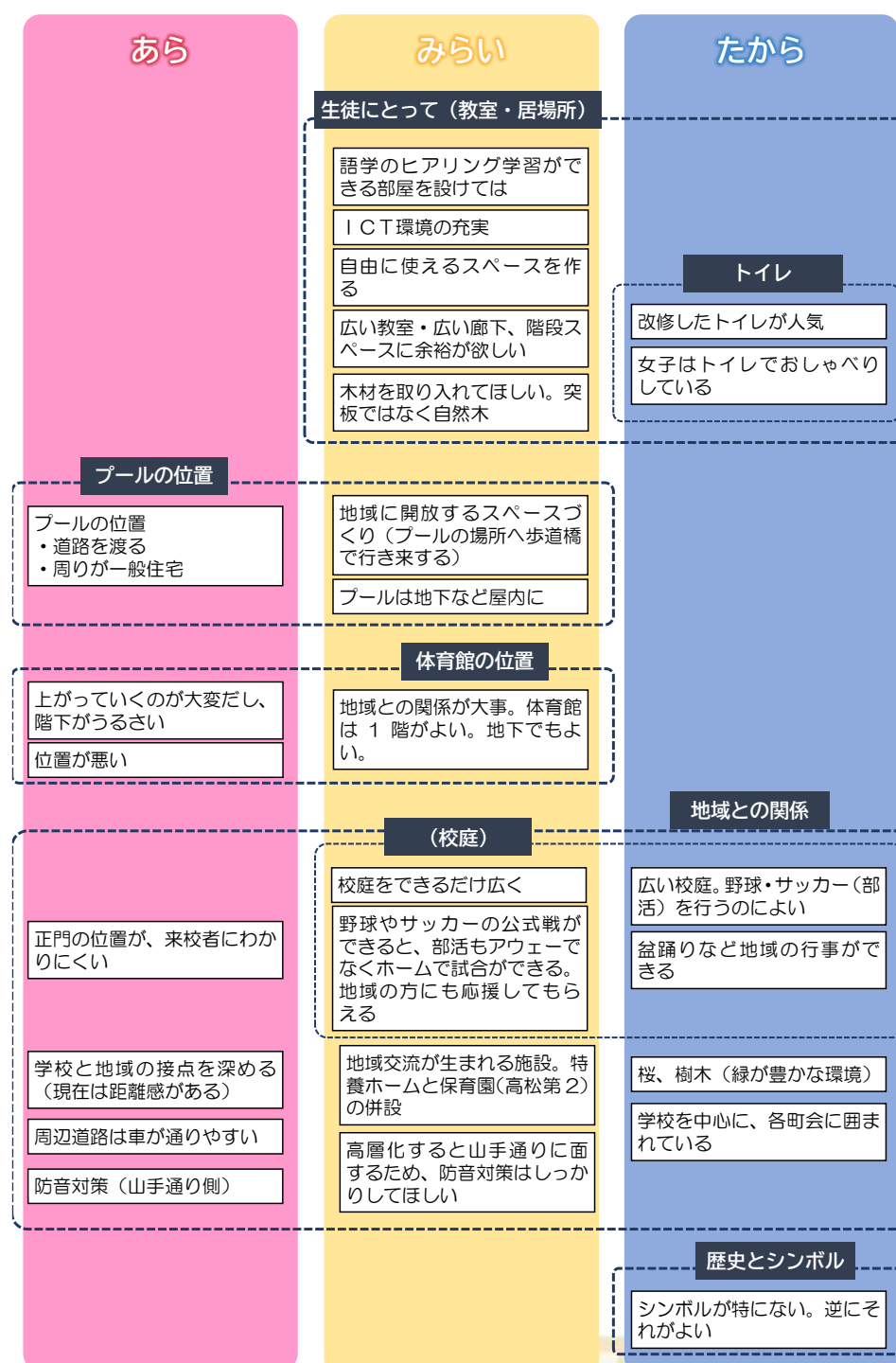
【学校づくりは3つの「ら」から】

たから 大事にしたいもの・こと 教育目標、歴史・文化、場所・もの

あら 直したいもの・こと 現状の問題点

みらい 新たな課題 社会の大きな変化に対して、ポスト・コロナ時代の学校

A 班の記録



B 班の記録

あら	みらい	たから
子供たちの居場所づくり（教室・居場所）		
教室・廊下・体育館が狭い	生徒の居場所がある学校	
現図書館は密閉感がある（オープンではない）	放課後でも子どもたちが集まれる居場所が欲しい	
学年集会が出来る場所が少ない！	学年ごとに集まれる集会室があると良いのでは	
新しい時代の学校づくり（メディアセンターなど）	ジャンプを併設する	
高層化することでエレベーターが必須になり必要な電気量も増えるかも	ポストコロナ時代の学校づくりができると良い	
	ICT 機器に対応できる学校づくり	
	生徒の増減に対応できる教室や機能の配置	
	仕切りを無くして、柔軟な空間利用を可能に	
	トイレの環境は学びにも影響する大切な要素である	トイレの作り方
	木材を使うなど、温かみのあるトイレ環境づくり	現校舎のトイレはきれい
分かりやすく合理的な配置	木材を多用するなど、学校生活にやさしい環境づくり	自然環境・木材利用
部屋の配置が良くない・分かりづらい		校庭が広いので、草木をたくさん植えたい
プールと校舎が離れている×4意見		校庭の泰山木を大切に
校長室・職員室が体育館の真下にあるのは良くない	静かな環境を守る	
	街道沿いではあるが、今の静かな環境は守りたい	立地が良く、街道沿いのわりには、落ち着いた環境である
	地域とのつながり・シンボル	
アンケートのみでなく、生徒も含めた話し合い、検討ができると良い	勉強をするだけではない地域のシンボルとなるような施設になると良い	生徒が挨拶できる地域性は大切にしたい
		『千川』という地域の名が学校を冠しているのが良い
	安心・安全な学校づくり	防災訓練は継続したい

C 班の記録

あら	みらい	たから
生徒にとって（教室・居場所）		
生徒数が少ない （学校選択性）	子ども達が通学したいと思う学校	小規模校なので生徒一人ひとりが見えやすい
空き教室が多い	物を大切にする心を養う場所	
教室が狭い	教室以外にも集える場、リラックスできる場所	
	学習センターからの眺めがよい学校	
閉鎖的な図書室	+αのスペース	諸室の機能 （メディアセンターなど）
	PTA教室を広く	
	ホールで地域の人と交流できること	
地域開放が少ない		
地域との関係		
（校庭）		
校庭が土（ほこり）	部活動を活発に取組める環境	防災教育
	校舎全体の有効活用	地域の祭りの場
プールの分断		
プールは使う時期が限られているため改善や必要性を検討	プールの有効活用	地域の学校として大切にしている
プールの位置が道路を挟んで離れている	地域とのつながり	地理的に地域の中心に位置している
	地域が使える場所	敷地が広い
	地域住民との交流がしやすい学校	（山手通りに面するが）静かな環境
	複合的な利用方法	
	いざという時、分離、結合できる構造	
歴史とシンボル		
歴史的なシンボル 自慢できるもの	歴史がつながっている（校名）	
農業用水やアトリエ工村があった歴史	シンボルとしてタイサンボクがある （30周年記念誌に掲載されている）	
水や樹木に関するシンボル性	校庭の桜	
建物の高さを活かした充実の施設	池と井戸	
伝統文化技法を取り入れた校舎		

（2）テーマ：めざしたい学校の風景

めざしたい学校の風景 WS A 班

■教室＋廊下



廊下に生徒が集う場所を、
ところどころに作る（集まれる場
所ができるのが良い）

生徒が人数によっていろいろな使
い方ができるためなるべく仕切り
を少なくする

長いスペース(廊下)が続くと、駆け
たり鬼ごっこしたりと指導しにく
い状況が想定される。

廊下＝不登校の子が落ち着ける場
所が良い

他のクラス・学年と交流できる

■学習情報センター



休み時間に集まれる
（入りやすさやカジュアルさ）

皆が使うことができる場所
（地域開放できる学習情報センター
として）

気軽に本と触れ合える

写真出典 上段（中）シーラカンズアンドアソシエイツ/設計 CAT/撮影 吉田誠/（C）吉田誠（右）新建築 2019 年 6 月号 追手門学院中・高等学校/撮影 新建築社写真部（C）
下段（左）新建築 2019 年 6 月号 追手門学院中・高等学校/撮影 新建築社写真部（C）
（中）新建築 2019 年 6 月号 桜川市立桃山学園/設計 川原田康子・比嘉武彦/kwhg アーキテクト/撮影 新建築社写真部

■ホール



・全教室が見渡せる配置
・白黒のモダンデザイン

発表の場として

1階を吹き抜けにして様々なワークショップを実施しやすいようにする（開放感があると良い）

生徒が落ちる危険がありそう

■集まれる場所



ウッドデッキで日光浴

■体育館



プール屋上で屋根付きが良い
（高架水槽になる）

プールは日当たり良いように
（地下は閉鎖的なので宜しくない）

体育館は避難所として
大きな開口が使いやすい
段差は不要！！

体育館は入り口が多くあると良い
入退場に時間がかかる

空間構成と建物配置①

【箱型東側配置案】

- 高さを使って複合化したい。
- 複合施設にして、近くに公園等を作る
- 校舎は東側面に 6～7 階建てで納め、西側面に老人ホーム 4 階建て(下に保育園＝現高松第二保育園を移動)
⇒ 校舎と施設は一体が良い。
- 別棟を考える場合、西側案(1 名)、北側ハナレ(数名賛同)が考えられる。
- 複合施設の内容は未定。

※学校以外：現高松第二保育園跡地は整備して公園・非常時の地域の避難場所にする(第一千中学校庭・障がい者にも対応できる公園)。高松一丁目児童遊園、中学校現プール用地を売却。



■教室＋廊下



集中して勉強できそう

授業の進行がスムーズ

プロジェクターを黒板に映すことで、中身の濃い授業ができそう



地域へ開放することで交流の場づくりにできる

基本方針の手がかり
生徒 先生 地域の人



自由な発想が生まれそう

休憩時間をクラスメイトと自由に過ごす

開かれた空間で自由に使える

くつろげそう。脳を休めることができそう

生徒が落ち着いた環境で過ごせる

食事の時間がたのしくなりそう

時間外に先生が顔を出す場所となれば良い

生徒と休み時間に交流がしやすい

先生と生徒がちょっとした会話をしやすいそう

授業参観で子ども達のより近くで活動を見られる

地域の人々が参観に来たときに情報交換しやすい

放課後の地域の人々の集える場所になれるか

集会用に便利

■学習情報センター



利用可能範囲が多くなる

本を選ぶ楽しみが増えそう

レイアウトの自由度が高く、図書館司書さんが力をより発揮できそう



個別でも全体でも交流できる

学習スペースが充実していて勉強がしやすい

全体への目くばりができる

空間が大きく開放感があり、生徒に目が届きやすい

ふき抜けを生かした開放的な空間

地域の人でも利用出来そう

開放感があり地域の人でも使いやすい



くつろぎの場

壁にプロジェクターを映すことで学習発表に活用できる

写真出典 上段(中) シーラカンスアンドアソシエイツ/設計 CAT/撮影 吉田誠/(C) 吉田誠(右) 新建築 2019 年 6 月号 追手門学院中・高等学校/撮影 新建築社写真部(C)
下段(左) 新建築 2019 年 6 月号 追手門学院中・高等学校/撮影 新建築社写真部(C)
(中) 新建築 2019 年 6 月号 桜川市立桃山学園/設計 川原田康子・比嘉武彦/kwhg アーキテクト/撮影 新建築社写真部

■ホール



木のぬくもりが感じられる落ち着く雰囲気

木目・木の香りで心が落ちつく

上からの採光もあり、生徒の目にやさしい

動線がオーソドックスである

統一感があり、親しみやすい

■集まれる場所



校庭が使えないときの遊び場になる

学年でも集めやすい広さがある

集まるスペースになる

趣味等の発表の場として使い、生徒とつながれる空間となりそう

体育館以外に集まれる場所がないので、広々とした場所があると良い

■体育館



球技大会が開きやすそう

特徴的な空間で記憶に残り、愛着がもてる

開放感の中で思いっきり動ける

明るく楽しい体育の授業ができそう

窓が多く換気がしやすい

閉鎖感がなく、式典などに使える

避難所となった場合、自然光で気持ち落ち着く



階段幅が広く、多人数での集まりが可能

気分転換の行動する場所（階段を使って）



花を育てられる

四季を感じられる場所

草花のちょっとした手入れ

生徒の動きを見やすい

理科教材として活用できる

生徒と協力して緑を育てられそう

緑のボランティアとして関われる



避難所として使用できる

地域のスポーツする場所の中心となりそうな施設



人を集めてコンサートや発表の場として使える



開放的でよい



統合的に良いデザイン性よりも機能・実用性が高い

機能的・実用性重視

地域の全ての人が交流する、利用する場所

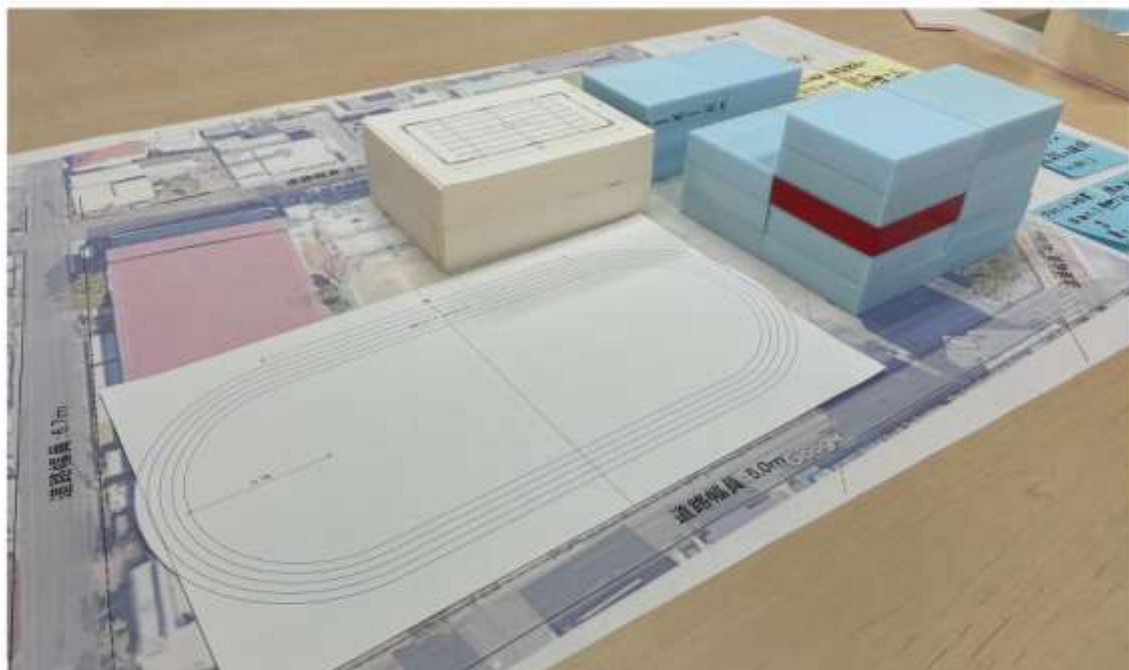
災害時の対応が良くできる

写真出典 上段(左) ICIJDP GOOD DESIGN AWARD <http://www.g-mark.org/> 江東区立有明西学園 (右) 非公表
中段(左) 戸田市/市立山手中学校 (中) ICIJDP GOOD DESIGN AWARD <http://www.g-mark.org/> 江東区立第五大島小学校 (右) ICIJDP GOOD DESIGN AWARD <http://www.g-mark.org/> 藤浦町立藤浦中学校
下段(左) 新建築 2018年3月号 釜石市立釜石東中学校/設計 CAT/撮影 新建築社写真部(C) (中) シーラカンスアンドアソシエーツ/設計 CAT/撮影 吉田誠/(C) 吉田誠

空間構成と建物配置①

【南東側積層配置案】

- ・積層可能な商業地域側でボリュームを取り、校庭を広く確保する
- ・体育館は地域の人の使いやすさを考慮し1階に配置する
- ・プールは体育館の上部に配置する



【その他の意見】

- ・北側道路に面して、車道と分けて安全に移動できる敷地内の通路を確保してはどうか。
- ・現状、教室に空きが生じており、この先も人口減少（子どもの減少）が進む中で、現状と同様のボリュームを新しい校舎に求める必要があるのか。
- ・グラウンドの位置は、南側のほうが日照を確保できて良いが、その一方で建物の影ができないので暑くなるのではないか。



■教室＋廊下



学習・勉強に集中できる

生徒がゆったりと広いスペースで
学びあえる教室



授業のあとに一息つける

広々自由な空間
開放的



空間が明るく、開放的な気持ちに

学習の時間は部屋を仕切ること
で集中できる環境が作れる

授業中は個々に勉強に集中
休み時間は友達とおしゃべりする
ON と OFF の切り替え

先生が様々な教材を使って授業が
できる環境
ICT、大きな黒板

職員室の分散配置が可能
外部電話、内部のインターホンがす
ぐ取れる

交流しやすい廊下

廊下を地域の方に開放してほしい

■学習情報センター



リラックスできる

勉強が集中できない
↑机がオシャレすぎる。曲線が多い



生徒が友達どうし楽しく交流でき
る自由なスペース

生徒が利用しやすいオシャレな図
書館。そして、調べ学習したくなる
資料などが準備されている

学年を超えて生徒を見守る



行きたいと思う場所になれば、本に
触れる機会も増える

学習情報センターに個室は不要

学年・学級の壁なく教えあったりす
るところ

吹き抜けて広さを感じる

写真出典 上段(中) シーラカンスアンドアソシエイツ/設計 CAT/撮影 吉田誠/(C) 吉田誠(右) 新建築 2019年6月号 追手門学院中・高等学校/撮影 新建築社写真部(C)
下段(左) 新建築 2019年6月号 追手門学院中・高等学校/撮影 新建築社写真部(C)
(中) 新建築 2019年6月号 桜川市立桃山学園/設計 川原田康子+比嘉武彦/kwhg アーキテクト/撮影 新建築社写真部

■ホール



・全教室が見渡せる配置
・白黒のモダンデザイン

広いホールで友達と語らう
広々と使えるのがよい

木の温かみ、温もりを感じる
木の質感は落ち着く

木より、巣鴨北中のような張れる壁
の方がよいと思う

地域の方の活動が発表できる

地域の方のミニ展示ホール

地域の子どもも使える

この写真イメージは不評
(冷たい雰囲気)

クラス単位での発表会や部活のミニ
発表会

■集まれる場所



入りやすく開放的

外との一体感
履き替えずに出られる

地域が利用できる共有スペース

緑があるとうれしい

公開授業のときの保護者のおしゃ
べり場

緑の管理(手入れ)で地域の人と生
徒が交流する

地域との交流(草花)

放課後に昼寝

雨の日も動ける場

観覧スペースになる

天気の良い日は気持ちよさそう

■体育館



明るい採光のオープンな感じの体
育館

搬入がしやすい

外部との連続(避難)

備蓄庫を兼ねた避難場所

一般的だが避難所によい

部活指導しやすい広い体育館・校庭
活動スペース

広い空間の光熱費←発電設備

体育館は1階に配置がよい

写真出典 上段(左) ICJDP GOOD DESIGN AWARD <http://www.g-mark.org/> 江東区立有明西学園 (右) 非公表
中段(左) 芦屋市/市立山手中学校 (中) ICJDP GOOD DESIGN AWARD <http://www.g-mark.org/> 江東区立第五大島小学校 (右) ICJDP GOOD DESIGN AWARD <http://www.g-mark.org/> 勝浦町立勝浦中学校
下段(左) 新建築 2018 年 3 月号 釜石市立釜石東中学校/設計 CAT/撮影 新建築社写真部(C) (中) シーラカンサンドアソシエイツ/設計 CAT/撮影 吉田誠/ (C) 吉田誠

空間構成と建物配置①

【南側高層化配置案】

- ・高層化が可能な南側に寄せて配置することで校庭を広く取ることができるのではないか。
- ・北側住宅地に日影を落とさない。一方、校庭は日影になるので好ましくないのではないか。



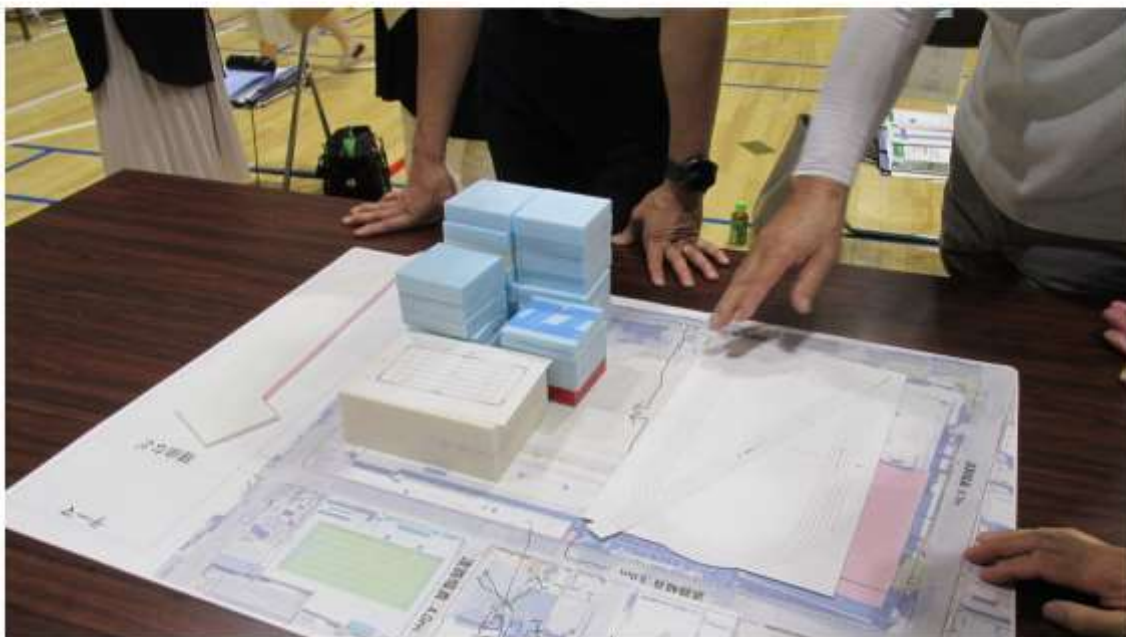
【箱型東側配置案①】

- ・東側に校舎、西側に校庭を配置（逆パターンもあり）
- ・中央部に採光と通風のために吹き抜けを取る。校舎の南側は高層化（地域施設配置）できる。
- ・メインの入口は校舎と校庭の間をって中央に配置。北側住宅地からのアクセスが多い。



【箱型東側配置案②】

- ・箱型配置案①から校舎を高層・スリム化し校庭を広くする案
- ・学校が4階以上の階になり、階段の上り下りが大変ではないか。



（3）テーマ：めざしたい学校の風景2

A 班

（1）基本方針の手がかりに関する追加意見

①地域の歴史

- ・千川上水の桜が有名だった
 - ・千川上水は弁天神社から椎名町を流れていた
 - ・富士塚はまだある
 - ・学校から富士山が見えた
- 眺望は意見もたくさん上がっていた

②千川中学校らしさについて

- ・木材を使う柔らかさが良い
- 無垢材で大黒柱を（吹き抜けにあると良い）
-
- ・タイサンボクは生徒会の名前にもなっている
 - ・移植できる？（池一でも移植中）
- 新しいタイサンボクは目立つよう
-
- ・校歌の「小川」はない？
 - ・校章は3本の小川
 - ・谷端川は要町二丁目から湧き出して、学校の方へ流れていた。
- 井戸がある。水もシンボルにしてはどうか。防災井戸にもなる。
- ・掘れば水が出る地域
- 温泉複合施設？
-
- ・盆踊り（要町1丁目、高松1丁目主催）、他にも町会ごとに会場の学校が違う
 - ・夏は毎週どこかの学校で盆踊りをしている
 - ・ソフトボール大会もやっている
- 地域が使えるホールを下の方に設けたい

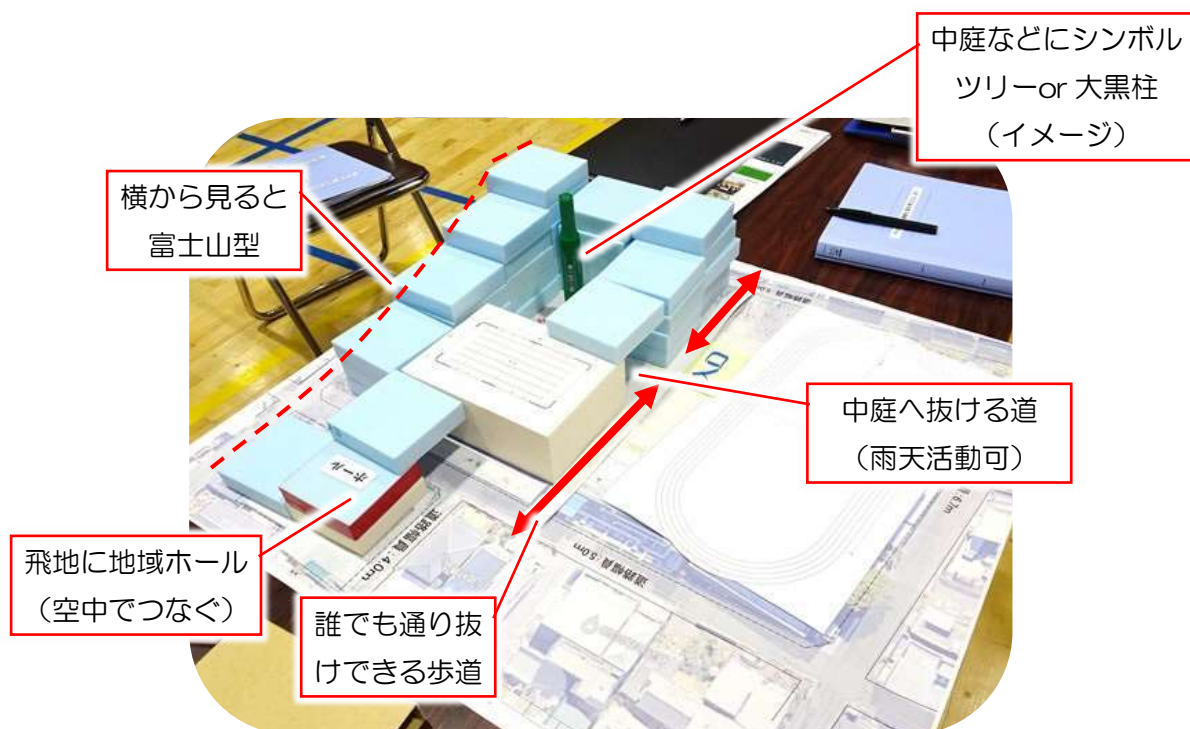
（2）コンセプトについて

- ・キーワード「自然あふれる」「大黒柱」「タイサンボク」「地域が集う」
- ・木材の活用、水（防災井戸）、眺望

(3) 建物配置について

- ・プールに屋根が欲しい（夏季以外はプールに蓋床を張って他のスポーツ利用をする）
- ・校舎を高層化して（普通教室を低層階、特別教室を高層階）、もっと校庭を広くした方がいい（箱型案）。
- ・敷地東側に校舎棟を高層化して配置、プールは北側、敷地南西側に老人ホームと保育園を4階建てで配置、トラックは斜めに取ればいい。

⇒変形校庭は野球やサッカーにも使いにくい。



(1)基本方針の手がかりに関する追加意見

①生徒のための学校

- ・千川中学校は部活動の種類が豊富なのが良い。新しい学校でも、多様な活動ができる空間になると良い。
- 広い校庭にして、スポーツ活動（部活動）を強化していきたい。また、地域のスポーツクラブとの共催大会なども開きたい。
- 異常気象も増えていることから、雨天でも部活動ができるような、屋根付きの広い半屋外空間があると良い。休日には地域活動にも活用できる。
- 一階にそのような自由度・公共性の高い空間があると良い。
- ・高層化するにしても、低層階には子どもたちのために学校の基本的な機能を集めて、高層階にその他の専門的な機能を集めると良い。
- 教室以外で、地域の方と交流できる場があると良い。
- 地域にひらかれた学校にしたい。

②防災

- ・防災教育は本校の特色のひとつであり、今後も継続して行っていきたい。
- D 級ポンプが使えるようになると、地域の防災活動により貢献できるようになる。
- ・千川中学校の雨水が、地域の水害被害に悪影響を与えるようなことはあってはならない。特にグラウンドには雨水対策をしっかりと行ってほしい。
- 巣鴨北中学校のような対策ができるとよい。
- ・山手通りに面しておりアクセス性が高いことから、災害時には防災活動の拠点となる。

③歴史

- ・アトリエ村の歴史的な要素は引き継いでいきたい。
- ・立地的にも、地域の顔となるような場所になる。景観も考えて、地域のランドマークとなるような学校にしたい。

(2) コンセプトについて

【生徒・仲間】

- ・まずは生徒ファーストの学校でありたい。
- ・友達を大切にする生徒であって欲しい。

【誇り・プライド】

- 卒業しても、本校の出身で良かったと誇れるような学校にしたい。
- 学校生活が、生涯の思い出となるような学校にしたい。

【地域・地域の拠点】

- ・場所柄も地域の顔、地域の拠点となるような学校になってほしい。
- ・東日本大震災の際も、地域の方が逃げ込んできたことがあり、地域の拠点であると言える。

【活動】

- ・部活動や地域活動などが活発に行われる学校。

⇒以上から、『生徒・子供たち』と、『地域』という対称的な2つのキーワードを軸として
コンセプトを検討すると良いのではないか。

→例：地域を助ける千川中学校の子、千川中学校の子を育てる地域の目

→学校の特色である『防災』も、『地域』という言葉と繋がりがある。

→『地域の「輪」、せんか「わ」』のような、キャッチーなコンセプトも良いかもしれない。

(3) 建物配置について

- ・未検討。



(1)基本方針の手がかりに関する追加意見

①千川中学校らしさについて

- ・ 70 年以上の歴史ある学校。卒業生が地域にいっぱい（約 17,000 人）いる。
統合していない中学校は豊島区で 3 校
- ・ 子どもたち、先生、皆が仲良し
- ・ 70 年以上地域と共に歩み、多くの卒業生の歴史と伝統
- ・ 地域とのつながりが深い
- ・ まじめで勤勉である。スポーツも盛んである。
- ・ タイサンボク・・・タイサンボクの花をデザインに使ってはどうか。
- ・ 地域とつながる学校施設⇒複合施設（老人ホーム+保育園を分棟で設置）の両立の提案
- ・ ISS の取組みで安全安心な学校

②防災機能について

- ・ 防災教育：10 年以上の実績。生徒が助けられる人から助けることができる意識付け。
ソフト面の改革。地域の人として。⇒防災学習で人を助ける立場に立てるように育っている。
- ・ 近隣は木造建築物が密集しているので、大火災の時に炎をせき止める構造の建物としたい。
- ・ 防災公園の設置（保育園の場所）
- ・ 地域防災の中心として活躍する中学生の育成
- ・ 防火水槽の設置（現在設置されているので将来も設置）
- ・ 地域防災の拠点。国道に面しているので大型緊急車両が入るように
- ・ 太陽光発電、充電設備、貯水槽など充実した設備

(2)コンセプトについて

- ・ 子ども（生徒）、住民も行きたくなる、通いたくなる学校
- ・ 地域とのつながり
- ・ 地域と共に学び歩む中学校、防災拠点
- ・ 地域と共に災害から守る防災拠点学校
- ・ 地域の要千川中学校、若いも若きも集まる学校
- ・ 地域とつながる学校
- ・ 歴史をつなぐ
- ・ 生徒が安心して学べる学校
- ・ 交流もキーワード

以上からキャッチフレーズ⇒「生徒も地域も行きたい、魅力ある千川中学校」
魅力とは、歴史があり防災拠点となっており地域と交流できる場があること

(3) 建物配置について

- ・プールに屋根が欲しい（夏季以外はプールに蓋床を張って他のスポーツ利用をする）
- ・校舎を高層化して（普通教室を低層階、特別教室を高層階）、もっと校庭を広くした方がいい（箱型案）。
- ・敷地東側に校舎棟を高層化して配置、プールは北側、敷地南西側に老人ホームと保育園を4階建てで配置、トラックは斜めに取ればいい。

⇒変形校庭は野球やサッカーにも使いにくい。



（4）テーマ：提言書（案）～大切にしたいこと～



【意見交換】

（全体について）

- ・学校づくりはまちづくりである。
- ・ここで過ごしてよかったと思ってくれる学校にしたい。
- ・小学生が千川中学校に行きたいと思う学校にしたい。
- ・教室やロッカーなどを大きくして、今までの学校より良くしたい。

（コンセプトについて）

- ・豊島区初の学校になるように、“今までにない学校、これまで以上の学校”という意味を入れてはどうか。
- ・地域を守る千川中学校というフレーズは違和感がある。3 番の要素、「地域と共に歩んでいく千川中学校」に変えてはどうか。
- ・豊島区は漫画の文化もあるが、コンセプトを文字だけではなくイラスト等も交えたい。
- ・もし、高齢者向け施設など、専門的な施設を入れるのであれば、その点が伝わるようなコンセプトになると良いのではないかな。

⇒コンセプトはあくまで千川中学校をどのようにしたいかという事に主眼を置いたものにするべきである。

（コンセプトに込めた想い）

「誰よりもまず生徒たちにとって最も良い学校にしたい」

「地域の皆さんから常に温かく見守られていることに感謝し、さらに一歩進んだつながりを持てる学校にしたい」

5. 千川中学校の改築に向けた参考意見について

地域説明会を実施し、参加者からいただいた意見を以下のようにまとめました。

(1) 実施概要

- ① 日 時 令和3年10月26日(火) 18:00～
- ② 会 場 千川中学校3階 体育館
- ③ 参加者 来場者13名、委員21名、事務局4名、コンサルタント2名

(2) 当日プログラム

- ① 開会(考える会活動経緯の説明など)
- ② 会長あいさつ
- ③ 考える会 委員紹介
- ④ 提言書(案)の説明(パワーポイントを使用)
- ⑤ 質疑応答など
- ⑥ 閉会

(3) 当日の様子



説明会の様子



司会進行



会長あいさつ



提言書(案)の説明



コンセプトの説明

(4) 質疑応答

- Q. 高容積が可能とのことだが、具体的に何階建てが可能なのか。
- A. 山手通りに面している一部では高容積が可能だが、範囲がかなり限定的ある。提言書を踏まえて、生徒の視点・地域の視点に立って、何階建てにすべきか検討していきたい。
- Q. 設計が始まるのはいつ頃か。
- A. 基本設計と実施設計の段階がある。令和4年度に基本設計で、大まかな配置案やコンセプトを決め、令和5年度で実施設計を進めていく。

(5) ご意見

- ・校庭が広くとれるような配置計画になると良い。
- ・施設配置の検討案が4つあるが、設計の段階でもまた意見できると良い。
- ・山手通り側の騒音から、学習環境が守られると良い。
- ・学校周辺の道路も安全な広さが確保できると良い。
- ・屋上プールの場合、日除けなどの対策もあると良い。

6. 「千川中学校の建替え等を考える会」会則

（名 称）

第1条 この会は、千川中学校の建替え等を考える会（以下、「本会」という。）と称する。

（目 的）

第2条 本会は、豊島区立千川中学校（以下、「学校」という。）の生徒の学習の場及び生活の場としての安全・安心で快適な学校環境を確保するため、教育内容・方法の多様化及び情報化や環境保護等の社会情勢の変化に対応した、また、生涯学習や地域活動等のまちづくりの拠点としての地域に開かれた学校施設づくりを推進することを目的とする。

（協議事項等）

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる活動を行う。

- （1）学校施設づくりに必要な調査・研究を行うこと。
- （2）学校改築等の基本構想をまとめ、豊島区教育委員会並びに豊島区長に提言すること。
- （3）学校改築等の基本構想の実現に向けた活動を推進すること。
- （4）その他、学校施設づくりに関すること。

（構 成）

第4条 本会は、次に掲げる団体等から推薦、または、選出された者で構成する。

- （1）学校のPTA、同窓会
- （2）学校通学区域内の町会及び居住する者の団体等
- （3）学校通学区域内で活動する地域団体等
- （4）豊島区、教育委員会及び学校

（役員等）

第5条 本会の役員の構成及び職務は次のとおりとする。

- （1）会長、副会長、その他の役員は、委員の中から互選によって定める。
- （2）会長は、本会を代表し、会務を総括する。
- （3）副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、これを代行する。

（任 期）

第6条 委員及び役員の任期は、本会の設立の日から学校の改築等が終了するまでとする。

（会議運営等）

第7条 本会は会長が召集し、会議を主宰する。

- 2 本会は、必要に応じて部会等を置くことができる。
- 3 学校通学区域内に居住する者及び学校に通学する生徒の保護者は、会議を傍聴することができるものとする。但し、必要がある場合は、委員のみで会議を開催できるものとする。
- 4 会長は、必要に応じて委員以外の者を会議に出席させることができる。
- 5 委員は、地域の意見が充分反映されるよう協議するものとする。

（事務局）

第8条 本会の事務局は、豊島区教育委員会事務局教育部学校施設課に置く。

（会則の改正）

第9条 この会則に変更の必要が生じたときは、会において協議のうえ改正するものとする。

- 2 この会則に定めのない事項については、会において協議のうえ定めるものとする。

付 則

- 1 この会則は、令和2年7月31日から施行する。

7. 「千川中学校の建替え等を考える会」委員名簿

No.	氏 名	所 属 団 体 等	
1	伊藤 要	千川中学校前 PTA 会長	
2	吾妻 実	要小学校前 PTA 会長	
3	上野 洋太郎	高松小学校 PTA 会長	
4	塚田 義信	高松二丁目町会 会長	
5	和田 健男	要町二丁目町会 会長	
6	三嶋 日出光	千早一丁目町会 会長	
7	田島 幸男	千早二丁目町会 会長	第 3 回まで
8	東 明男	千早二丁目町会 会長	第 4 回から
9	織田 盛男	要町一丁目町会 会長	
10	吉田 雅明	高松一丁目町会 会長	
11	田口 芳民	高松三丁目町会 会長	
12	篠木 功	千川一丁目町会 会長	
13	大槻 正臣	千川二丁目町会 会長	
14	作本 恒美	千川中学校同窓会会長	
15	矢澤 良一	千川中学校開放運営委員長	
16	中島 留美子	第 9 地区青少年育成委員会会長	
17	田島 千枝子	第 9 地区青少年育成委員会委員	
18	北川 英恵	主任児童委員	
19	矢野間 朋子	千川中学校 元 PTA 会長	
20	丸尾 悟子	千川中学校 PTA 会長	第 4 回から
21	大野 雄一郎	千川中学校 副校長	
22	林 謙太郎	千川中学校 主幹	
23	兒玉 辰哉	豊島区教育委員会事務局 教育部長	
24	東屋 英俊	豊島区総務部 施設整備課長	

